平成21年旭市議会第1回定例会会議録

議事日程（第1号）

平成21年3月2日（月曜日）午前10時開会

- 第 1 開 会
- 第 2 議長報告事項
- 第 3 会議録署名議員の指名
- 第 4 会期の決定
- 第 5 議案上程
- 第 6 施政方針並びに提案理由の説明
- 第 7 議案の補足説明

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
- 日程第 2 議長報告事項
- 日程第 3 会議録署名議員の指名
- 日程第 4 会期の決定
- 日程第 5 議案上程
- 日程第 6 施政方針並びに提案理由の説明
- 日程第 7 議案の補足説明

出席議員（24名）

1番	伊藤保	2番	島田和雄
3番	平野忠作	4番	伊藤房代
5番	林七巳	6番	向後悦世
7番	景山岩三郎	8番	滑川公英
9番	嶋田哲純	10番	柴田徹也
11番	木内欽市	12番	佐久間茂樹
13番	日下昭治	14番	平野浩

15番 林 俊介
17番 林 一雄
19番 嶋田茂樹
21番 高橋利彦
24番 神子 功

16番 明智忠直
18番 高木武雄
20番 向後和夫
22番 林 正一郎
26番 林 一哉

欠席議員(1名)

25番 伊藤 鐵

説明のため出席した者

市長	伊藤忠良	副市長	鈴木正美
教育長	米本弥榮子	病院事務部長	伊藤敬典
総務課長	高埜英俊	秘書広報課長	加瀬寿一
企画課長	加瀬正彦	財政課長	平野哲也
税務課長	野口徳和	市民課長	木内國利
環境課長	平野修司	保険年金課長	増田富雄
健康管理課長	小長谷 博	社会福祉課長	在田 豊
高齢者福祉課長	横山秀喜	商工観光課長	神原房雄
農水産課長	堀江隆夫	建設課長	米本壽一
都市整備課長	島田和幸	下水道課長	中野博之
会計管理者	渡辺輝明	消防長	菅谷衛一
水道課長	堀川茂博	庶務課長	浪川敏夫
学校教育課長	及川 博	生涯学習課長	花香寛源
国体推進室長	高野晃雄	監査委員局長	林 久男
農業委員会事務局長	小田雄治	国民宿舎人	野口國男
病院経理課長	鈴木清武	支配人院長	鏑木友孝
		病再整備室長	

事務局職員出席者

事務局長 宮本英一 事務局次長 石毛健一

開会 午前10時 0分

議長（向後和夫） おはようございます。

ここで、会議を開会する前に、あらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思います。

日程第1 開 会

議長（向後和夫） ただいまの出席議員は24名、議会は成立しました。

これより平成21年旭市議会第1回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程第2 議長報告事項

議長（向後和夫） 日程第2、議長報告事項。

議長の報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了承いただきたいと思います。

日程第3 会議録署名議員の指名

議長（向後和夫） 日程第3、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

6番、向後悦世議員、7番、景山岩三郎議員、以上の2議員を指名いたします。

日程第4 会期の決定

議長（向後和夫） 日程第4、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。本定例会の会期は、本日から3月23日までの22日間といたしたいと思いを。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（向後和夫） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から3月23日までの22日間と決しました。

なお、お配りいたしました日程表により会議の運営を図りたいと思いをするので、ご協力をお願いいたします。

議長（向後和夫） 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第32号までの32議案であります。

配布漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（向後和夫） 配布漏れないものと認めます。

議案等説明のため、市長、副市長、教育長、病院事業管理者ほか関係課長等の出席を求めました。

日程第5 議案上程

議長（向後和夫） 日程第5、議案上程。

議案第1号から議案第32号までの32議案を上程いたします。

議案第 1号 平成21年度旭市一般会計予算の議決について

議案第 2号 平成21年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について

議案第 3号 平成21年度旭市老人保健特別会計予算の議決について

- 議案第 4号 平成21年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について
- 議案第 5号 平成21年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について
- 議案第 6号 平成21年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について
- 議案第 7号 平成21年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について
- 議案第 8号 平成21年度旭市水道事業会計予算の議決について
- 議案第 9号 平成21年度旭市病院事業会計予算の議決について
- 議案第10号 平成21年度旭市国民宿舎事業会計予算の議決について
- 議案第11号 平成20年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案第12号 平成20年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案第13号 平成20年度旭市後期高齢者医療特別会計補正予算の議決について
- 議案第14号 平成20年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について
- 議案第15号 平成20年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決について
- 議案第16号 平成20年度旭市水道事業会計補正予算の議決について
- 議案第17号 平成20年度旭市病院事業会計補正予算の議決について
- 議案第18号 平成20年度旭市国民宿舎事業会計補正予算の議決について
- 議案第19号 旭市庁舎整備基金条例の制定について
- 議案第20号 旭市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について
- 議案第21号 旭市海上キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案第22号 旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第23号 旭市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第24号 旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第25号 旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第26号 旭市国民宿舎事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
- 議案第28号 指定管理者の指定について（あさひ健康福祉センター）
- 議案第29号 指定管理者の指定について（海上ふれあいサポートセンター）
- 議案第30号 指定管理者の指定について（飯岡福祉センター）

議案第31号 指定管理者の指定について（旭市福祉作業所）

議案第32号 市道路線の認定、廃止及び変更について

日程第6 施政方針並びに提案理由の説明

議長（向後和夫） 日程第6、施政方針並びに提案理由の説明。

施政方針並びに議案第28号を除く議案第1号から議案第32号までの提案理由の説明を求めます。

伊藤市長、ご登壇願います。

（市長 伊藤忠良 登壇）

市長（伊藤忠良） 本日、ここに平成21年旭市議会第1回定例会を招集し、平成21年度一般会計、特別会計及び企業会計予算のほか、条例の制定等の案件についてご審議を願うことといたしました。

開会にあたり、新年度における市政運営について所信の一端を申し上げます。

はじめに、総合計画について申し上げます。

平成19年4月からスタートした総合計画は、3年目を迎えます。

平成21年度は、市全体のバランスある発展を目指すとともに、地域の特性・資源を最大限に生かし、誰もが健康で安心・安全に暮らせる「日本一住みよい」まちづくりを進め、将来都市像「ひとが輝き 海とみどりがつくる健康都市“旭”」の実現に向けて、百年に一度といわれる大不況に沈むことなく、活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

また、施策や事業の実施に当たっては、議会をはじめ市民の皆様との合意形成を図りながら進めてまいりたいと考えております。

次に、行政改革について申し上げます。

本市の行政改革の指針であります「旭市行政改革アクションプラン」については、平成17年度に策定以来、これまで定員適正化計画に基づく職員数の縮減や、民間委託の推進、本庁舎の狭隘化の解消と支所庁舎の有効活用などに取り組んできたところであります。

定員適正化計画においては、職員数の縮減を計画的に進めており、平成21年度当初の職員数は779名となる見込みであり、目標を大幅に上回る72名が縮減されます。

また、組織・機構の再編の一環として、一部の課の組織を見直すこととしたところであり、

総務課、社会福祉課及び建設課において班の統合を行うとともに、支所機能の一部を本庁直轄とするものであります。

今後も、市民に親しまれる市役所を目指し、業務形態等を勘案しながら、随時、見直しを行ってまいります。

なお、平成21年度はアクションプランの最終年度となりますので、目標達成に向けて一層の行政改革に取り組むとともに、今後も、行政改革推進委員会のご意見等をいただきながら、次期アクションプランの策定作業を進めてまいります。

次に、平成21年度の予算編成方針について申し上げます。

世界の金融資本市場は、未曾有の危機に陥っており、今後の我が国の経済については、世界的な景気後退を受けて、外需面に加え、国内需要も停滞し、景気の下降局面が長期化、深刻化するおそれが懸念されております。

このため政府は、国民生活と日本経済を守る観点から、当面は「景気対策」、中期的には「財政再建」、中長期的には「改革による経済成長」という3段階で、経済財政政策を進め、内需主導の持続的成長が可能となるよう期待しているところであります。

こうした中、先に決定された平成21年度の地方財政計画では、地方交付税は特別枠として1兆円増額されたものの、地方交付税の原資となる国税の減収などにより、通常分の地方交付税は減額となり、実際の増額は4,100億円、対前年度比2.7パーセント増に留まる結果となりました。

また、地方税は4兆2,843億円、10.6パーセントの減となる一方、地方譲与税は7,591億円、108パーセントの増となりましたが、計画規模では、対前年比1パーセント減の82兆5,557億円となり、地方財政は依然として厳しい状況が続くものと見込まれております。

本市においても、歳入の中枢を占める市税収入の増は見込めない状況にあり、歳出においても、扶助費などの義務的経費が増加を続けており、経常収支比率や実質公債費比率の推移を見ると、財政の弾力性は低い状態が続くものと予想されます。

しかしながら、急速に進展する「少子・高齢化社会への的確な対応」や「安全で安心して暮らせるまちづくりの実現」など、市民が求める多くの財政需要が今後も見込まれるところであります。

このような状況下において編成した平成21年度の当初予算は、市民福祉の向上と市の均衡ある発展に向けて、合併の効果や財源などを最大限に生かすとともに、合併による国の財政支援の終期も見据えながら、本市の「基本計画」や「行政改革アクションプラン」に掲げる

施策を着実に実施していくことを基本とし、一般会計の予算額を255億5,000万円としたものであります。

また、特別会計は、国民健康保険事業、老人保健、後期高齢者医療、介護保険事業、下水道事業、農業集落排水事業の6事業で140億9,280万円とし、企業会計では、水道事業、病院事業、国民宿舎事業の3事業を合わせて428億7,394万2,000円となり、当初予算の規模825億1,674万2,000円としたところであります。

次に、平成21年度の主要事業等について、基本計画の施策体系に沿って申し上げます。

第一に「安全で魅力のあるまちづくり」であります。

はじめに、都市計画について申し上げます。

都市計画マスタープランについては、現在、土地利用や都市施設の基本方針などの全体構想を取りまとめているところであります。

今後は、地域別構想の策定に向け、策定委員会のご意見をいただくとともに、地域別の説明会を開催するなど、多くの市民のご意見を取り入れながら、平成21年度末には都市計画マスタープランを策定したいと考えております。

次に、市道の整備について申し上げます。

市民生活に直接関連する市道の整備については、地域のバランス等を考慮しながら、計画的に整備を進めてまいります。

旭中央病院アクセス道整備事業については、用地取得を行いながら工事を進めているところであり、東西線については、平成21年度が最終年度となることから、県と市を合わせて延長1,730メートルの工事を施工し、東西線は全線が完成することになります。

南北線については、JRの線路をまたぐ橋梁工事を含め、旭中央病院から国道126号までの工事を継続して進めてまいります。

また、橋梁の長寿命化を図るため、鎌数地先の更生橋の補強工事を実施いたします。

次に、街路事業については、旭駅前線において、引き続き電線共同溝及び歩道の工事を行い、駅前地域としての都市環境の整備を進めるとともに、駅東側から線路沿いの市道へつながる通路の整備を行い、通勤・通学者等の利便性を図ってまいります。

次に、コミュニティバスについて申し上げます。

昨年4月に再編したコミュニティバスについては、市民の身近な移動手段として定着してきており、年間10万人を上回る利用者が見込まれるところであります。

試行運行を開始した干潟地区ルートについては、当初の見込みを上回る多くの市民の皆様

に利用されている状況にありますが、旭市地域公共交通会議において、干潟地区ルートにおける更なる利用促進を図るための提案をいただきましたので、来る4月からは、このルートにより引き続き試行運行を行ってまいります。

今後も、各ルートの利用状況等を踏まえ、効率性・利便性を念頭に、市民の皆様が利用しやすい運行ルートを目指してまいります。

次に、消防行政について申し上げます。

消防体制の強化については、本署においてポンプ自動車と指揮車を更新し、消防団車両3台の更新整備を行うとともに、消防庫及び防火水槽については、年次計画により順次整備を進めており、今後も、火災の減少を目指して一層の予防対策に努めてまいります。

次に、防災について申し上げます。

防災行政無線統合整備については、親局及び遠隔操作装置の設置を完了し、飯岡地区から屋外受信機及び戸別受信機を順次、更新しているところであり、年度内の整備完了に向けて更新整備を進めてまいります。

第二に「快適でうるおいのあるまちづくり」であります。

はじめに、生活環境について申し上げます。

人々が自然と共生できる、やすらぎのある環境都市を目指し、「きれいな旭をつくる会」を主体に、市民の皆様やボランティア団体のご協力をいただきながら、ゴミゼロ運動や各種事業に積極的に取り組み、住みよい環境づくりに努めてまいります。

次に、広域ごみ処理事業について申し上げます。

東総地域ごみ処理広域化計画については、東総地区広域市町村圏事務組合を中心に組んでおりますが、現在、広域ごみ処理施設の建設用地について、構成3市管内の6地区で詳細な調査を実施しているところであります。

この調査は、候補地を検討するための調査段階のものでありますが、今後も、構成3市で協調し、地域住民の皆様のご理解とご協力をいただきながら施設整備に向けて努力してまいります。

次に、東総衛生組合旭クリーンパークについて申し上げます。

旭クリーンパークは、建設後22年が経過しており、施設の経年劣化に加え、合併処理浄化槽の汚泥処理に対応できない状況にあることから、施設の更新整備を進めており、コンパクトで再資源化を考慮した汚泥再生処理センターとして、現敷地内に2か年事業で施設を建設してまいります。

次に、水道事業について申し上げます。

将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給するため、既存施設の維持管理に努めながら、引き続き配水区域の変更に伴う水圧改善とループ化等を計画的に行ってまいります。

また、中期経営計画による経営効率化への取り組みについては、来る4月から、料金収納業務、開閉栓業務、各種受付業務等を民間事業者へ包括委託することとしており、土曜日の営業や平日の営業時間延長、更にはインターネットによる届出などを取り入れた「旭市水道お客様センター」をスタートいたします。

これにより、職員の適正配置と業務運営の効率化が図られるとともに、利用者に対して、より一層、利便性の高い向上が期待できるものと考えております。

次に、下水道事業について申し上げます。

公共下水道は、平成20年度末において156.3ヘクタールの区域で使用が可能となり、これにより事業認可区域202ヘクタールのうち、約77パーセントが整備されることとなります。

平成21年度は、二袋地先9.9ヘクタールの面整備工事を実施するとともに、流入量の増加に合わせて、本庁舎敷地内に中央汚水ポンプ場を3か年計画で建設してまいります。

次に、排水路の整備について申し上げます。

川向西野地区の排水路整備事業については、詳細設計が終了しましたので、全体計画1,060メートルのうち、流末となる新川側から約350メートルの工事に着手してまいります。

次に、都市公園事業について申し上げます。

袋公園については、園路広場、遊戯施設等の整備を行い、多様なレクリエーションニーズに対応した、市民が憩える公園となるよう整備してまいります。

また、溜池の中通りを拡幅するとともに植栽を行ってまいります。

これにより、西溜池の全周が桜並木としてつながりますので、市の観光名所として、より一層価値が高まるものと期待しております。

文化の杜公園については、関係地権者のご協力により、事業用地の83パーセントを取得することができましたので、基盤整備工事に着手いたします。多目的な利用と防災機能を併せ持った総合公園として整備を進めてまいります。

次に、あさひ健康パークについて申し上げます。

あさひ健康パークは、現在の飛砂防止柵の嵩上げを行い、公園及び近隣住民の塩害及び砂塵被害の防止を行ってまいります。

下宿ふれあい公園については、園路広場、遊戯施設等の整備を行います。地域交流の場と

して、子どもからお年寄りまで多くの市民の皆様にご利用していただくとともに、災害時には避難場所ともなる地域に密着した近隣公園として整備を行ってまいります。

第三は「健やかでやすらぎのあるまちづくり」であります。

はじめに、保健事業について申し上げます。

妊婦健康診査については、公費負担の受診回数を現行の5回から14回に拡充するとともに、若い世代の負担軽減を図るとともに、安心して子どもを産める環境づくりに努めてまいります。

また、乳幼児医療費助成事業については、昨年12月に、県の補助基準が見直され、自己負担額が上がりましたが、保護者の負担を引き上げることなく、安心して子育てが行えるよう、引き続き市の単独事業として助成してまいります。

次に、病院事業について申し上げます。

近年、自治体病院を取り巻く環境は、更に厳しさは増してきており、近隣病院においても、休止や病棟の閉鎖等が相次ぎ、診療体制の縮小が顕著な状況にあります。

このような状況において、旭中央病院は健全経営を堅持し、東総地域の基幹病院として、高度医療をはじめ、不採算部門の救急医療を受け持つとともに、近隣病院の要請に基づいて医師を派遣するなど、その重責をしっかりと果たしているところであります。

去る2月21日に開催した地域医療シンポジウムでは、「住民が安心して暮らせる地域医療の確保に向けて」と題して、公立病院を取り巻く厳しい現状認識と地域医療のセーフティネット構築を見据えた地域医療体制の将来像について、基調講演をいただきました。

また、パネルディスカッションでは、旭中央病院の地域医療体制確保のためのさまざまな取り組みや、市の総合計画における医療・福祉の郷構想などについて紹介し、会場の皆様とも意見交換を行ったところであり、旭中央病院が地域の基幹病院としてその果たす役割の重要性について、市民の皆様並びに関係各位の理解を深めることができたものと考えております。

今後とも、病院事業の健全経営に取り組むとともに、病院再整備事業に全力を傾注することが大変重要であると考えております。

建設工事が進む中、市民をはじめ、病院を訪れる多くの来院者の皆様には、暫くの間、不自由をお掛けすることになりますが、安全を第一に、工期内の完成を目指して努力してまいります。

次に、社会福祉について申し上げます。

平成18年4月から指定管理者制度に基づき委託しております「あさひ健康福祉センター」「飯岡福祉センター」「海上ふれあいサポートセンター」及び「旭市福祉作業所」について、本年3月末をもって指定期間が終了しますので、継続して指定管理者として指定するため、今議会へ関連する議案を提案したところであります。

次に、児童福祉について申し上げます。

保育所施設の整備については、年次計画で進めており、とみうら保育所の耐震改修工事については、国の緊急経済対策により既に工事に着手し、平成21年度は、中央第一保育所並びに中央第三保育所の耐震改修工事を実施してまいります。

今後、安全で安心な保育所づくりに努力してまいります。

次に、高齢者福祉について申し上げます。

介護保険制度は、平成21年度から第4期の事業計画がスタートいたしますが、その計画の概要は、前期計画と同様に、介護予防が最も大切であるとの観点から、予防重視の計画としております。

また、介護保険料については、給付費の増加や第1号被保険者の負担率の上昇などにより増額することになりますが、基金を取り崩すなど、急激な保険料の上昇を抑制してまいります。

今後、超高齢社会へと進展する中で、介護保険制度の充実を図りながら、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者への支援事業に取り組んでまいります。

次に、障害者福祉について申し上げます。

障害福祉計画については、第1期の計画期間を終了することから、平成21年度からはじまる「第2期障害者福祉計画」については、現行の福祉施設が新たなサービス体系へ移行する目標年度を平成23年度としており、各年度におけるサービス目標量を計画値として設定し、障害者福祉サービスや相談支援、地域生活支援事業などを提供する支援体制を推進してまいります。

第四は「心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり」であります。

はじめに、学校教育について申し上げます。

小・中学校教諭補助員配置事業については、10名の教諭補助員を配置し、国語や算数、数学など、基礎学力の徹底と特別支援を必要とする子ども達へのきめ細かな指導を行うとともに、ALTによる英語教育と併せて学力の向上を図ってまいります。

放課後児童健全育成事業については、大規模児童クラブとなっている中央児童クラブの定

員等を見直すことといたしました。

また、新規事業として、下校後に保護者等が家庭外就労等により家庭にいない4年生から6年生までの児童に対して、自主的な活動や遊び場を提供するため、試行として中央小学校内で「放課後子どもサポート事業」を実施することといたしました。これらにより、安全面の確保と待機児童の解消が図られ、若い世代の保護者が安心して働ける環境づくりが構築されるものと考えております。

次に、義務教育施設の整備について申し上げます。

第二中学校の校舎改築工事は、昨年10月に完成し、残る屋外運動場についても、本年中には整備する予定であり、これですべての工事を完了することとなります。

中央小学校改築事業及び矢指小学校改築事業は、平成21年度から2か年事業で改築することとしており、中央小学校については、敷地の関係から、仮設校舎を建設して整備したいと考えております。

飯岡中学校改築事業は、平成22年度から3か年事業で全面改築する予定であり、平成21年度は、校舎等の耐震診断と改築に伴う設計業務を実施してまいります。

なお、新校舎の建設場所は、いいおかふれあいスポーツ公園内を中心に、隣接する飯岡西部地区土地改良事業の非農用地を利用できればと考えておりますが、この件については、土地改良事業の決定を見ておりませんので、現在は流動的であります。

次に、社会教育について申し上げます。

社会教育については、市民が心身ともに豊かな生活ができるよう、各種事業を展開してまいります。

文化振興事業については、多くの市民の皆さんに楽しんでいただけるよう、市民参加型事業としての市民音楽祭やあさひのまつりをはじめ、あさひ寄席、演劇鑑賞教室等の公演など、幅広いジャンルから事業を実施してまいります。

文化財保護については、国指定の文化財である大原幽学遺跡「旧宅」の半解体事業を引き続き実施してまいります。

次に、体育振興については、近年の市民の健康に対する関心が高まる中、健康・体力づくりの重要性を認識していただくため、市民が積極的にスポーツ活動に参加できる機会を提供してまいります。

図書館については、公民館図書室とのネットワーク、県立東部図書館をはじめ、他の公共図書館との蔵書の有効活用を推進し、市民の利便性向上を図ってまいります。

ゆめ半島千葉国体卓球競技会については、本大会開催前年となることから、10月に国体リハーサル大会として全日本卓球選手権大会を行い、国民体育大会に向けて準備体制を整えてまいります。

また、デュッセルドルフ市との国際卓球交流事業や国体卓球関東ブロック大会の開催などを通じて、国体を広く市民にPRするとともに、関係機関等との連携を深めてまいります。

第五は「活力と躍動感に満ちたまちづくり」であります。

はじめに、農業の振興について申し上げます。

水田農業については、米の需要低迷と生産過剰から米価が長期的な下落傾向にあり、昨年産については若干持ち直したものの、依然として厳しい状況にあります。

そのため、より一層、米の生産調整を推進し、安定した水田農業を実現するとともに、食料自給率の向上に向けた麦・大豆・飼料作物や発酵粗飼料用稲・飼料用米等の転作作物を組み合わせた対策を推進してまいります。

特に、国・県からも大きな評価をいただいた飼料用米の取り組みについては、新年度も積極的に推進してまいります。また、米粉の利用方法を研究し、利用拡大を図ることで、米の新たな需要を掘り起こし、水田農業の確立に取り組んでまいります。

園芸については、千葉県屈指の一大産地として多種の野菜が栽培され、大消費地である首都圏へ安定的に供給しており、園芸産地として更なる生産力の向上や省力化を図るため、野菜生産施設等の整備を実施してまいります。

なお、去る2月20日に開催した「フレッシュフード海匝」見本市は大変好評であったことから、今後も、本市農産物の販路拡大につながるよう積極的にPR活動に取り組んでまいります。

畜産については、経営安定のための重要な要素となる家畜排せつ物の適切な管理・処理を目指して、良質堆肥の生産施設を整備し、そこで生産された堆肥を地域の耕種農家が有効利用するという、資源循環型農業の構築を推進してまいります。

また、畜産飼料の大部分が輸入に頼る現状から、飼料自給率の向上を図るため、飼料増産に必要な機械導入を行う「原点回帰」飼料増産緊急対策事業を実施するとともに、廃棄物として焼却・埋却される食品残渣を家畜飼料として活用するための施設整備を行う地域バイオマス利活用推進事業を実施いたします。

家畜防疫としては、家畜伝染病発生の蔓延防止を行うため、全国レベルで開始された豚オースキー病清浄化対策と、まだまだ予断を許さない高病原性鳥インフルエンザ防疫の二つ

を軸として、衛生管理を強化・推進し、畜種別防疫事業へ助成してまいります。

次に、農業基盤整備事業について申し上げます。

市内6地区で経営体育成基盤整備事業が順調に進められ、整備後の農業生産性の向上を図るため、営農推進協議会等が設立され、営農計画を策定しているところであります。

また、飯岡西部地区については、平成22年4月の事業採択を目指し、(仮称)「飯岡西部工区」の設立に向け、大根土地改良区・地元役員・関係機関が連携を図りながら準備を進めております。

次に、水産業の振興について申し上げます。

漁業を取り巻く環境は、水産資源の減少や、輸入水産物の増加と景気の後退に伴う需要の減少により、厳しい経営を迫られております。

このような状況の中、水産業の振興を図るため、つくり育てる漁業を推進する種苗放流や人工漁礁の設置など、栽培漁業の基盤整備と漁港整備による機能の充実を図ってまいります。

これら各種支援策と同時に、全国有数の本市農水産業をPRし、知名度の向上を図り、販売優位性を確保するため、「いいおか港・水産まつり」、3地区で実施する「産業まつり」など、多くの交流事業を実施し、本市の農水産業の振興に努めてまいります。

次に、商業の振興について申し上げます。

商業を取り巻く環境は依然として厳しい環境が続く中、商工会では、中心市街地活性化委員会の活動など、商業振興につなげるための事業を展開しているところであり、市としても、商工会と連携を図りながら支援してまいります。

商店会等の振興策の一環として実施しているプレミアム付き共通商品金の発行事業について、旭市商業振興連合会の要望に基づき、昨年に引き続き助成することといたしました。

また、国の二次補正予算を受け、地域活性化対策として、国の臨時交付金を活用し、プレミアム付き共通商品券発行事業に係る経費を助成することとし、本議会に関連する補正予算を計上したところであります。この定額給付金と合わせて共通商品券を発売することにより、地域経済への誘導策として、地元の消費拡大に一定の効果が期待できるものと考えております。

また、中小企業金融対策事業については、当面、景気の後退が続くものと見られることから、国のセーフティネット保証に係る認定事務の迅速な対応を図るとともに、市の制度融資についても、中小企業者の資金繰りの悪化に対応するため、預託金を増額して融資枠を拡大し、中小企業者の経営安定と利便性向上に努めてまいります。

次に、工業の振興について申し上げます。

あさひ鎌数工業団地への企業誘致については、昨年2社の進出が決定したところでありますが、現下の厳しい経済状況を背景に、工業団地に対する問い合わせも減少しており、今後とも一段と企業誘致活動が厳しくなることが予想されます。

地域経済の活性化と雇用の場の創出を図るため、県をはじめ関係機関と連携しながら、優良企業の誘致に向けて努力してまいります。

次に、観光について申し上げます。

毎年、袋公園で行われている桜まつりについては、新たに「袋公園桜まつり実行委員会」が発足されました。市民参加型のイベントとして、地域の皆様のご協力のもと、来る4月4日に開催されますので、多くの市民の皆様の参加を期待するものであります。

長熊スポーツ公園については、釣堀施設が完成し、残る野球場を含めた公園全体の工事も3月末には完成いたします。

今般、新装になる長熊スポーツ公園は、市民や県内外からの大勢の釣り人の集客を図るとともに、市の観光資源として、市民の憩いの場として活用していただけるものと期待しております。

観光振興については、引き続き観光協会等と連携しながら観光の情報発信に取り組むなど、観光客の誘致に努力してまいります。

次に、地域資源価値創造事業について申し上げます。

地域資源価値創造事業は、潜在的な文化・観光資源を新たな目で調査し、全国へ向けて情報発信を行う試みとして、大学教授をはじめ、芸術家や新聞社などの各分野における専門家で構成する「旭市の文化と観光情報発信委員会」を設置いたしました。

旭ブランドを確立するため、ちばてつや先生のご協力と県の支援をいただき、「あした天気になあれ」の主人公、向太陽を起用したゲートや看板、パネルなどを作成したところであり、パークゴルフ大会には、県内外から大勢の参加者が訪れ、当日は、地元の食材を使ったチャーシューメンなどを提供し、PR活動を行いました。

今後は、本市の自然や歴史、文化など「価値資源」を、更には、ちば先生作品の元気なキャラクターなどを活用し、旭ブランドの認知度・好感度を積極的に県内外にPRしてまいります。

次に、国民宿舎事業について申し上げます。

昨年12月に改修工事をすべて終了し、新装なった施設で供用を開始いたしました。予想

を上回る利用状況となりました。

宿泊部門については、リニューアル記念として発行した宿泊優待券が、全国各地から約6,000通の応募をいただいたことを見ても、「食彩の宿いいおか」の知名度を上げるための販売促進体制を強化したことで、順調な予約が入ったものと考えております。

今後も、現代の利用者ニーズを的確に捉えながら、経営健全化への取り組みを怠ることなく、本市の観光交流拠点施設としてその役割を果たしてまいります。

続いて、本議会に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第1号は、平成21年度旭市一般会計予算の議決についてでありまして、予算の規模は、歳入歳出それぞれ255億5,000万円で、前年度比0.1パーセントの減であります。

歳入の主なものは、1款市税に67億5,031万5,000円、9款地方交付税に76億1,000万円、13款国庫支出金に17億5,134万8,000円、14款県支出金に17億2,234万2,000円、20款市債に38億1,920万円を計上いたしました。

次に、歳出の主なものは、2款総務費に28億7,918万4,000円、3款民生費に58億6,172万1,000円、6款農林水産業費に15億1,864万9,000円、8款土木費に33億3,118万8,000円、9款消防費に18億248万3,000円、10款教育費に30億2,817万4,000円、12款公債費に31億4,995万3,000円を計上したところであります。

議案第2号は、平成21年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、事業勘定で85億9,000万円、施設勘定は7,300万円とするものであります。

議案第3号は、平成21年度旭市老人保健特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ6,700万円とするものであります。

議案第4号は、平成21年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ3億9,500万円とするものであります。

議案第5号は、平成21年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ36億3,800万円とするものであります。

議案第6号は、平成21年度旭市下水道事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ12億7,700万円とするものであります。

議案第7号は、平成21年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決についてでありまして、予算の規模を、歳入歳出それぞれ5,280万円とするものであります。

議案第8号は、平成21年度旭市水道事業会計予算の議決についてでありまして、年度末の給水件数を1万8,682件、年間給水量を619万3,530立方メートルと見込み、事業収益を16億

9,040万5,000円と予定いたしました。

議案第9号は、平成21年度旭市病院事業会計予算の議決についてでありまして、病院本体の入院患者数は29万9,650人、外来患者数は83万3,256人を見込み、事業収益を311億705万3,000円と予定いたしました。

議案第10号は、平成21年度旭市国民宿舎事業会計予算の議決についてでありまして、宿泊利用者を1万6,000人、休憩利用者を5,000人と見込み、事業収益を2億3,022万6,000円と予定いたしました。

議案第11号は、平成20年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出にそれぞれ10億4,500万円を追加し、予算の総額を274億5,100万円とするものであります。

議案第12号は、平成20年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決についてでありまして、事業勘定において歳入歳出にそれぞれ1,170万円を追加し、予算の総額を85億1,370万円とするものであります。

議案第13号は、平成20年度旭市後期高齢者医療特別会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出からそれぞれ6,800万円を減額し、予算の総額を6億9,700万円とするものであります。

議案第14号は、平成20年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出にそれぞれ3,043万1,000円を追加し、予算の総額を34億7,420万4,000円とするものであります。

議案第15号は、平成20年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決についてでありまして、繰越明許費として3,500万円を設定するものであります。

議案第16号は、平成20年度旭市水道事業会計補正予算の議決についてでありまして、企業債の借り換えをするにあたり、資本的収入に6億6,940万円、資本的支出に6億7,855万9,000円を追加するものであります。

議案第17号は、平成20年度旭市病院事業会計補正予算の議決についてでありまして、主なものは、資本的収入で企業債から2億7,400万円を減額し、資本的支出で建設改良費から4億5,600万円を減額するものであります。

議案第18号は、平成20年度旭市国民宿舎事業会計補正予算の議決についてでありまして、事業収益に1,609万2,000円、事業費用に1,195万円を追加するものであります。

議案第19号は、旭市庁舎整備基金条例の制定についてでありまして、庁舎の整備については、総合計画及び行政改革アクションプラン等に位置づけられ、基金の設置についても同様

であることから、今後、将来に向けた庁舎の検討をするに当たり、新庁舎の整備又は改修に必要な財源を確保するため、基金を設置するものであります。

議案第20号は、旭市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定についてでありまして、介護報酬の引き上げに伴う国の補てんする交付金を積み立てるため、新たに基金を設置するものであります。

議案第21号は、旭市海上キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定についてでありまして、当該施設を千葉県から無償譲渡を受けるに当たり、新たに条例を制定するものであります。

議案第22号は、旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、公職選挙法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

議案第23号は、旭市税条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、個人市民税及び固定資産税の納期前納付の報奨金制度を段階的に廃止するものであります。

議案第24号は、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、農産物処理加工センターに米粉の製粉機を導入するにあたり、その使用料を定めるものであります。

議案第25号は、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、第4期介護保険事業計画に基づき介護保険料を改定するに当たり、所要の改正を行うものであります。

議案第26号は、旭市国民宿舎事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、国民宿舎の施設改修に合わせて、客室数等について改正するものであります。

議案第27号は、千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてでありまして、浦安市・市川市病院組合及び香取市東庄町清掃組合が千葉県市町村総合事務組合から脱退することに伴い、同組合規約を改正するため、関係地方公共団体と協議するにあたり、あらかじめ議会の議決を求めるものであります。

議案第29号から議案第31号までの3議案は、いずれも指定管理者の指定についてでありまして、それぞれの施設の指定管理者を継続して指定するにあたり、議会の議決を求めるものであります。

議案第32号は、旭市道路線の認定、廃止及び変更についてでありまして、道路整備に伴い、新たに64路線を認定、8路線を廃止し、1路線を変更するものであります。

以上、市政運営についての所信並びに今回提案いたしました各議案の趣旨をご説明いたしました。詳しくは事務担当者から説明し、また、ご質問に応じてお答えいたしますので、なにとぞご賛同くださいますようお願い申し上げます。

議長（向後和夫） ここでしばらく休憩いたします。そのまま自席でお待ちください。

休憩 午前10時55分

再開 午前10時55分

副議長（林 一雄） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長の都合により、議長に代わり議事の進行を務めますので、ご協力のほどよろしく願いをいたします。

地方自治法第117条の規定により、議案第28号に関係いたします林一哉議員、向後和夫議員、嶋田茂樹議員、高木武雄議員、明智忠直議員、佐久間茂樹議員の退席を求めます。

（26番 林 一哉 退席）

（20番 向後和夫 退席）

（19番 嶋田茂樹 退席）

（18番 高木武雄 退席）

（16番 明智忠直 退席）

（12番 佐久間茂樹 退席）

副議長（林 一雄） しばらく休憩いたします。そのまま自席でお待ちください。

休憩 午前10時56分

再開 午前10時57分

副議長（林 一雄） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案第28号の提案理由の説明を求めます。

伊藤市長、ご登壇願います。

(市長 伊藤忠良 登壇)

市長(伊藤忠良) 議案第28号について、提案理由を申し上げます。

議案第28号は、指定管理者の指定についてでありまして、あさひ健康福祉センターの指定管理者を財団法人旭市福祉協会に継続して指定するにあたり、議会の議決を求めるものであります。

以上です。

副議長(林 一雄) 施政方針並びに提案理由の説明は終わりました。

ここで林一哉議員、向後和夫議員、嶋田茂樹議員、高木武雄議員、明智忠直議員、佐久間茂樹議員の入場を求めます。

(26番 林 一哉 入場)

(20番 向後和夫 入場)

(19番 嶋田茂樹 入場)

(18番 高木武雄 入場)

(16番 明智忠直 入場)

(12番 佐久間茂樹 入場)

副議長(林 一雄) しばらく休憩いたします。そのまま自席でお待ちください。

休憩 午前10時58分

再開 午前10時59分

議長(向後和夫) ここで11時15分まで休憩いたします。

休憩 午前10時59分

再開 午前11時14分

議長(向後和夫) 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第7 議案の補足説明

議長（向後和夫） 日程第7、議案の補足説明。

議案の補足説明を求めます。

議案第1号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 平野哲也 登壇）

財政課長（平野哲也） 議案第1号、平成21年度旭市一般会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

初めに、別冊でお配りしてございます平成21年度当初予算の概要について触れさせていただきます。

この資料につきましては、先日開催されました全員協議会において説明に用いましたものを、特別会計や企業会計まで含めて、改めて一つにまとめたものでございます。この資料の内容につきましては、既にご説明したとおりですので、ここでは省略をさせていただきます。

それでは、予算書をご用意ください。

予算の内容について、前年度と比較しながら、主なものを説明いたします。

それでは、1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算の総額を255億5,000万円と定めるもので、対前年度3,000万円、0.1%の減となりました。

第2条の債務負担行為と第3条の地方債につきましては、後ほど別の表でご説明いたします。

第4条は、一時借入金の限度額を20億円と定めるものでございます。

第5条は、歳出予算中、各項の間で流用できる経費を給料、職員手当等及び共済費と定めるものでございます。

次の2ページから8ページまでは第1表歳入歳出予算であります。これらの内容につきましては、13ページ以降の事項別明細書の中でご説明を申し上げます。

9ページをお願いいたします。

第2表は債務負担行為です。表の1行目から7行目までは、各種利子補給と中小企業資金融資に対する損失補償について、例年設定しているところでございます。また、8行目は衛生施設周辺施設環境整備事業について、9行目は投票人名簿システム構築事業について、10

行目は固定資産評価基礎調査事業について、11行目は防衛施設周辺民生安定事業について、12行目は中央小学校改築事業について、13行目は矢指小学校改築事業について、それぞれ記載のとおり期間と限度額を設定するものでございます。

10ページをお願いいたします。

第3表は地方債です。起債の目的と限度額、起債の方法、利率、償還の方法を定めるもので、総額として38億1,920万円を計上いたしております。

次の11ページと12ページは歳入歳出予算事項別明細書の総括ですので、説明は省略いたしまして、13ページの歳入から順を追ってご説明申し上げます。

13ページをお願いいたします。

1款市税のうち1項1目個人市民税は、景気後退による影響と20年度の決算見込みを考慮して、対前年度1億5万9,000円、3.6%の減で、27億1,063万4,000円を見込みました。

2目法人市民税についても、景気の急激な落ち込みと20年度の決算見込みを考慮して、対前年度で1億1,624万8,000円、22.9%の減で、3億9,194万5,000円を見込みました。

2項1目固定資産税は、土地家屋の評価替えによる課税標準額を考慮し、対前年度で8,297万3,000円、2.9%の減で、28億661万1,000円を見込みました。

14ページをお願いいたします。

2目国有資産等所在市交付金は、対前年度4,000円、0.1%の増で、486万2,000円を見込みました。

3項1目軽自動車税は、対前年度67万9,000円、0.5%の減で、1億3,210万8,000円を見込みました。

4項1目市たばこ税は、20年度の決算見込みを考慮して、対前年度739万1,000円、1.6%の減で、4億5,250万7,000円を見込みました。

15ページをお願いいたします。

6項1目入湯税は、20年度の決算見込みを考慮して、対前年度56万4,000円、5.4%の減で、990万7,000円を見込みました。

7項1目都市計画税は、固定資産税の見込みに準じて、対前年度424万1,000円、1.7%の減で、2億4,150万1,000円を見込みました。

2款地方譲与税の1項1目自動車重量譲与税は、地方財政計画、これにつきましては、この後、地財計画と申し上げさせていただきますが、これを考慮して、対前年度2,700万円、8.6%の減で、2億8,600万円を見込みました。

16ページをお願いいたします。

2項1目地方道路譲与税は、地財計画を考慮して800万円、7.3%の減で、1億100万円を見込みました。

3款の利子割交付金から4款配当割交付金、5款株式等譲渡所得割交付金、6款地方消費税交付金、7款自動車取得税交付金までは、地財計画と県の推計を考慮して、それぞれ見込みました。

8款地方特例交付金の1項1目地方特例交付金は、児童手当分、住宅ローン減税分、新規に自動車取得税減税分が創設されたことによりまして、この増分を考慮して8,600万円を見込みました。

18ページをお願いいたします。

2項1目特別交付金は、20年度の決算見込みを考慮して1,300万円を見込みました。

9款地方交付税は、76億1,000万円を見込みました。このうち普通交付税は、地財計画の対前年度2.7%増等を考慮して68億円、特別交付税は、20年度の決算見込み等を考慮して8億1,000万円を見込みました。

10款交通安全対策特別交付金は、対前年度200万円、13.3%の減で、1,300万円を見込みました。

11款分担金及び負担金は減で、1項1目2節の児童福祉費負担金の説明欄の2番、保育所運営費負担金の減と、19ページをお願いします。1項2目3節の保健体育費負担金の説明欄の1番、学校給食費負担金の減で、これは21年度の見込み人数が減少することなどによるものでございます。

12款1項使用料は増で、2目衛生使用料は、対前年度256万6,000円、31.4%の増で、1,073万6,000円を見込みました。

4目商工使用料は、対前年度965万円、232.5%の増で、1,380万円を見込みました。これは長熊釣堀センター使用料でございます。

20ページをお願いいたします。

2項の手数料は減で、20年度の決算見込みなどを考慮して見込みました。主なものは、2目2節清掃手数料の説明欄の1番、塵芥処理手数料の減でございます。

次に、13款国庫支出金ですが、1項1目民生費国庫負担金は増で、障害者福祉サービス利用の増によるものでございます。

23ページをお願いいたします。

2項1目総務費国庫補助金は減で、説明欄1番の市町村合併推進体制整備費補助金は、国の21年度予算を考慮して見込みました。

2目民生費国庫補助金は増で、主な理由は、1節の社会福祉費国庫補助金の説明欄の1番の地域生活支援事業費等補助金が増加したことによるものでございます。

3目衛生費国庫補助金は減で、説明欄1番の循環型社会形成推進交付金で、合併浄化槽の補助基数が減になることによるものでございます。

4目土木費国庫補助金は減で、主な理由は、1節の道路橋梁費国庫補助金の説明欄の1番の防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金、24ページになりますが、4節のまちづくり交付金が減になったことによるものでございます。

5目消防費国庫補助金は増で、説明欄2番の緊急消防援助隊設備整備費補助金の増によるもので、消防ポンプ自動車購入に対するものでございます。

6目教育費国庫補助金は、全体で減となっております。ただ、これにつきましては、実施する事業によりまして、増と減がございます。

2節小学校費国庫補助金の増は、説明欄1から4の中央小学校と矢指小学校の改築事業の交付金、補助金が増になったことによるものでございます。

3節の中学校費国庫補助金の減は、説明欄1番の安全・安心な学校づくり交付金（第二中学校改築事業）でございますが、減になったことによるものでございます。

25ページをお願いいたします。

14款県支出金ですが、1項1目民生費県負担金は増で、1節の社会福祉費県負担金、2節の老人福祉費県負担金が増となったことによるものでございます。

27ページをお願いいたします。

2項1目の民生費県補助金は増で、3節児童福祉費県補助金が増になったことによるものでございます。

28ページをお願いいたします。

2項2目衛生費県補助金は増で、説明欄3番の妊婦健康診査支援基金事業費補助金が国の第二次補正により新設され、妊婦健康診査回数が5回から14回に増となったことによるものでございます。

2項3目労働費県補助金につきましても、国の第二次補正による緊急雇用創出事業に対する補助金でございます。

2項4目農林水産業費県補助金は増で、29ページの説明欄8番の強い農業づくり交付金が

増となったことによるものでございます。また、2節の水産業費県補助金についても増で、説明欄1番で、新規に魚礁を設置するための地域水産物供給基盤整備事業費補助金が増となったことによるものでございます。

2項7目教育費県補助金は増で、主な理由は、1節の小学校費県補助金の説明欄1番の放課後児童対策事業費補助金で、新たに三つの児童クラブが設置されることによるものでございます。また、30ページになりますが、3節の保健体育費県補助金の説明欄の1番、第65回国民体育大会開催事業費補助金が国体リハーサル大会の開催により増となっております。

3項1目総務費委託金は減で、2節の徴税費委託金の減によるものでございます。

32ページをお願いいたします。

15款財産収入の1項2目利子及び配当金は増で、3節の地域振興基金利子の増によるものでございます。

33ページをお願いいたします。

16款の寄附金は科目設定でございます。

34ページをお願いいたします。

17款繰入金の1項特別会計繰入金で1目老人保健特別会計繰入金は、老人保健特別会計からの精算分です。

2項1目の財政調整基金繰入金は、対前年度1億6,000万円、23.5%減の5億2,000万円を計上いたしました。

35ページをお願いいたします。

18款繰越金は、前年度と同額を見込み計上したものでございます。

36ページをお願いいたします。

19款諸収入の4項1目貸付金元利収入で説明欄1番の中小企業金融対策資金預託金元金収入は増で、金融機関が中小企業者へ融資を行うための原資となる預託金を8,000万円から1億円に増額したことによるものでございます。

37ページをお願いいたします。

5項3目雑入は減で、主な理由は、説明欄9番のリサイクル資源売払収入と、説明欄15番の介護予防サービス計画費収入の減によるものでございます。

38ページをお願いいたします。

20款市債は増となっておりますが、事業によりましては増と減があります。

内訳といたしまして、1目衛生債は減で、1節保健衛生債の説明欄1番の水道事業一般会

計出資債が減となっております。

2目農林水産業債は減で、1節農業債の説明欄の1番、経営体育成基盤整備事業債、説明欄2番の広域農業基盤整備事業債が減となっております。

3目土木債は増で、1節道路橋梁債の説明欄1番の旭中央病院アクセス道整備事業債、説明欄2番の南堀之内遊正線整備事業債、2節都市計画債の説明欄2番の文化の杜公園整備事業債が増となっております。

4目消防債は減で、説明欄3番の防災基盤整備事業債が減となっております。

5目教育債は減で、主な理由は、2節の中学校債の第二中学校改築事業がなくなったことによるものでございます。

6目臨時財政対策債は、地財計画に基づく平成21年度の発行可能見込額である11億8,170万円、対前年度4億2,050万円、55.2%の増を計上いたしました。

なお、これらの市債のうち、合併特例債事業を申し上げます。1目の衛生債で水道事業一般会計出資債、3目の土木債で、旭中央病院アクセス道整備事業債と南堀之内遊正線整備事業債、文化の杜公園整備事業債、4目の消防債で防災基盤整備事業債、5目の教育債で第二中学校屋外運動場整備事業債を予定いたしております。

以上で歳入の説明を終わらせていただきます。

続いて歳出につきまして、前年度と比較しながら主な事業をご説明申し上げます。

それでは、42ページをお願いいたします。

1款1項1目議会費は減となっております。主な理由は、説明欄2番の議会関係職員給与が減になったことによるものでございます。

次は、少し飛びまして、47ページをお願いします。

2款総務費のうち1項1目一般管理費は減で、説明欄4番の総務事務費の減によるものでございます。

次は、また飛びまして、52ページをお願いいたします。

2目人事管理費は減で、主な理由は、54ページになりますけれども、説明欄3番の一部事務組合負担金で、退職手当負担金が減となったことによるものでございます。

次は、56ページをお願いいたします。

4目財政管理費は減で、前年度計上しました24節の投資及び出資金の地方公営企業等金融機構出資金がなくなったことによるものでございます。

57ページをお願いいたします。

6目財産管理費は減で、説明欄1番の普通財産管理費の13節のうち、前年度計上いたしました公有財産台帳整備業務委託料が減ったことによるものでございます。

また、59ページになりますが、説明欄2番の緊急雇用創出公有財産適正管理事業は、国の第二次補正の緊急雇用創出事業により、普通財産等の草刈り等をシルバー人材センターに委託するためのものでございます。

7目企画費は減で、主な理由は、61ページをお願いいたします。説明欄4番の地域資源価値創造事業の事業費が減になったことによるものでございます。

次は、62ページをお願いいたします。

8目電子計算費は増で、説明欄2番の電子システム運用事業において、法改正に伴うシステム改修の委託料が増えたことによるものでございます。また、63ページになりますが、説明欄3番の電子自治体推進事業では、新規として13節に情報化計画策定支援業務委託料を計上いたしております。

それでは、飛びまして66ページをお願いいたします。

10目地域振興費の説明欄4番の市民まちづくり活動支援事業は新規事業で、市民との協働のまちづくりを促進するため、地域振興基金を活用し実施するものでございます。

少し飛びまして、72ページをお願いいたします。

2項2目賦課徴収費は減で、主な理由は、次の73ページになりますが、説明欄2番の収税事務費で、8節の報償費が前納報奨金の一部廃止により減となったことによるものでございます。

少し飛びまして、77ページをお願いいたします。

4項3目衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査費と、79ページになります4目市長選挙費、80ページにあります5目市議会議員選挙費、82ページにあります6目東総用土地改良区総代選挙費は、それぞれ任期満了に伴う選挙経費を計上いたしております。

次は3款民生費でございますが、少し飛びまして93ページをお願いいたします。

1項2目障害者福祉費は増で、主な理由は、95ページをお願いいたします。説明欄10番の地域生活支援事業と、96ページの説明欄11番の自立支援給付事業が、20年度の決算見込みを考慮して増となることによるものでございます。

98ページをお願いいたします。

1項4目国民健康保険費は減で、説明欄2番の国民健康保険事業特別会計繰出金で、前年度一般会計で計上しておりました国保特定健康診査等繰出金分を自主財源で賄うため減とな

るものでございます。

99ページになりますが、2項1目老人福祉総務費は減で、102ページをお願いいたします。説明欄9番の老人保健特別会計繰出金が減になったことによるものでございます。

2目後期高齢者医療費は増で、主なものは、療養給付費について、本年度は説明欄2番の広域連合負担金として、一般会計から千葉県後期高齢者医療広域連合へ負担金を支出することになったためでございます。

3目生活支援費は減で、説明欄1番の地域包括支援センター運営事業の中の13節委託料の介護予防給付ケアプラン作成委託料が、国保連合会から直接、事業所へ支払われるようになったことによるものでございます。

104ページをお願いいたします。

4目介護保険費は増で、105ページの説明欄3番の介護保険事業特別会計繰出金の増によるものでございます。

3項1目児童福祉総務費は増で、主な理由は、106ページ、説明欄3番の次世代育成支援行動計画策定事業によるものと、少し飛びまして108ページをお願いいたします。説明欄10番のこんにちは赤ちゃん事業を新規に実施するもので、この事業は、保健師が第2子以降の生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、さまざまな支援を行っていくものでございます。

110ページをお願いいたします。

4目保育費は増で、主な理由は、次の111ページの一番下の説明欄3番の保育所運営費の増と、113ページになりますが、説明欄5番の保育所施設改修事業で、新規事業として中央第一保育所、中央第三保育所の2か所について、耐震補強及び改修を予定することによるものでございます。

次に、4款衛生費ですが、少し飛びまして128ページをお願いいたします。1項3目母子保健費は増で、主な理由は、説明欄1番の乳幼児健康診査事業の中の妊婦健康診査が、国の第二次補正で5回から14回になったことによるものでございます。

少し飛びまして、130ページをお願いいたします。

4目環境衛生費は減で、主な理由は、説明欄1番の環境衛生関係職員給与費が減となったことによるものでございます。

少し飛びまして、138ページをお願いいたします。

2項2目塵芥処理費は減で、主な理由は、焼却施設改修工事等が減となったことによるものでございます。

次に 6 款農林水産業費ですが、少し飛びまして151ページをお願いいたします。

1 項 3 目農業振興費は増で、主な理由は、また少し飛びまして155ページをお願いいたします。説明欄 9 番の「園芸王国ちば」強化支援事業の補助金が増えたことによるものでございます。さらに、158ページをお願いいたします。説明欄15番の経営構造対策事業は増で、ハウスの整備事業等に対して補助を行うものでございます。

159ページをお願いいたします。

4 目畜産振興費は減で、主な理由は、説明欄 3 番の畜産環境総合整備統合事業、160ページの説明欄 4 番のたい肥利用促進集団育成支援事業、説明欄 5 番の地域バイオマス利活用推進事業が減になったことによるものでございます。

5 目農地費は減で、主な理由は、162ページをお願いいたします。説明欄 5 番の経営体育成基盤整備事業と、説明欄 6 番の広域農業基盤整備事業の減によるものでございます。

167ページをお願いいたします。

3 項 2 目水産振興費は増で、説明欄 2 番の地域水産物供給基盤整備事業で魚礁設置工事を予定したものでございます。

次に、7 款商工費ですが、少し飛びまして170ページをお願いいたします。

1 項 1 目商工総務費は増で、主な理由は、一番下の説明欄 3 番の消費者保護対策事業の中で消費生活相談員を増員することによるものでございます。

171ページをお願いいたします。

1 項 2 目商工振興費は増で、主な理由は、172ページをお願いいたします。説明欄 2 番の中小企業金融対策事業と説明欄 3 番の制度資金利子補給事業の増によるものでございます。

174ページをお願いいたします。

1 項 3 目観光費は減で、主な理由は、長熊スポーツ公園整備事業が終了したことによるものでございます。

次に、8 款土木費ですが、少し飛びまして185ページをお願いいたします。

2 項 1 目道路橋梁総務費は減で、主な理由は、説明欄 1 番の道路橋梁事務費の中の、次の186ページをお願いいたします。13節道路台帳補正業務委託料が減となったことによるものでございます。

2 項 2 目道路維持費は増で、主な理由は、187ページの説明欄 2 番の緊急雇用創出道路維持管理事業として、国の第二次補正の緊急雇用創出事業で道路の草刈り等維持管理のための作業員 2 名を雇用するための賃金及び備品の購入等に係る経費でございます。

189ページをお願いいたします。

2項3目道路新設改良費は増で、主な理由は、190ページをお願いいたします。説明欄4番の旭中央病院アクセス道整備事業の道路改良工事が増となったことによるものでございます。

少し飛びまして、192ページをお願いいたします。

2項4目橋梁維持費は増で、説明欄1番の鎌数地先の更生橋改修事業を行うことによるものでございます。

194ページをお願いいたします。

3項2目街路費は増で、主な理由は、195ページの説明欄3番の街路整備事業（谷丁場遊正線）の道路新設工事と用地購入費が増えたことによるものでございます。

197ページをお願いいたします。

4目公園費は増で、主な理由は、199ページをお願いいたします。説明欄3番のあさひ健康パーク維持管理費、次の200ページの説明欄4番の袋公園整備事業、説明欄5番の文化の杜公園整備事業が増となったことによるものでございます。

次に、9款消防費でございます。少し飛びまして206ページをお願いいたします。

1項1目常備消防費は増で、208ページをお願いいたします。説明欄4番の消防車両整備事業で、車両の購入によるものでございます。

1項2目非常備消防費は減で、主な理由は、212ページになります。説明欄6番の消防団車両整備事業が減となったことによるものでございます。

1項3目災害対策費は減で、214ページになりますが、説明欄3番の防災行政無線統合整備事業が、前年度の入札によりまして事業費が減ったことによるものでございます。

次に、10款教育費でございます。少し飛びまして223ページをお願いいたします。

2項小学校費の1目学校管理費は増で、主な理由は、少し飛びまして225ページをお願いいたします。新規事業として、説明欄4番の中央小学校改築事業と、226ページ、説明欄5番の矢指小学校改築事業で、校舎等改修工事を行うものでございます。

2項2目教育振興費は増で、主な理由は、228ページをお願いいたします。説明欄7番の緊急雇用創出小学校英語教育教諭補助員配置事業で、英語指導補助員1名の雇用に係る賃金と、229ページになりますが、説明欄9番の緊急雇用創出放課後子どもサポート事業で、小学校高学年の留守家庭児童の活動場所を新規に開設するに当たりまして、これを管理する者の雇用に係る賃金と備品等によるもので、この2事業は国の二次補正の緊急雇用創出事業に係る

ものがございます。

3項中学校費の1目学校管理費は減で、主な理由は、232ページをお願いします。説明欄4番の第二中学校改築事業が、最終事業年度ということで事業費が減となったことによるものです。また、新規事業として、説明欄5番の飯岡中学校改築事業の13節に設計業務委託料を計上いたしております。

少し飛びまして、262ページをお願いいたします。

4項13目、説明欄1番の海上キャンプ場管理費は新規事業で、県から移管されました海上キャンプ場の管理費を計上いたしております。

次は263ページをお願いいたします。

5項1目保健体育総務費は増で、主な理由は、264ページになります。一番下の説明欄3番の国民体育大会開催事業でリハーサル大会競技運営のための旭市実行委員会に対する補助金が増えたことによるものでございます。

265ページになりますが、2目体育施設費は増で、主な理由は、269ページになります。説明欄6番の総合体育館改修事業は、国体の卓球競技会場として施設の改修工事を行うものでございます。

5項3目学校給食費は増で、主な理由は、271ページをお願いします。説明欄4番の第一学校給食センター運営費の13節委託料に調理業務委託料を新規に計上したことと、さらに少し飛びまして275ページをお願いいたします。一番下の説明欄9番の学校給食センター統合改築事業の13節委託料に、調査測量と設計業務委託料を新規に計上したことによるものでございます。

278ページをお願いいたします。

11款災害復旧費は科目設定でございます。

また少し飛びまして、282ページをお願いいたします。

12款公債費は増となっております。なお、この予算額については、繰上償還分を含んでいるところでございます。

284ページをお願いいたします。

13款諸支出金のうち1項1目土地取得費は科目設定でございます。

2項1目水道事業公営企業費は減で、主な理由は、説明欄1番の水道事業会計繰出金と説明欄2番の水道事業会計出資金の減によるものでございます。

2目の病院事業公営企業費は、繰出金が減となっているところでございます。

少し飛びまして、288ページをお願いいたします。

14款の予備費は、4,000万円を計上するものでございます。

以上で、歳出の主な内容についての説明を終わらせていただきます。

続きまして、下の289ページをお願いいたします。

ここから294ページまでは給与費明細書となっております。今、ご覧いただいております1の特別職の表は、長等、議員、その他の特別職について、本年度と前年度を比較したものでございます。

次の290ページをお願いいたします。2の一般職のうち(1)の総括は、一般職の職員数、給与費、共済費について、前年度と比較したものでございます。職員数は、前年度に比べて15人の減で、金額は、合計で1億1,054万2,000円の減となっております。

このほかの内容は、291ページ以降に記載のとおりでございます。

なお、291ページの(3)給料及び職員手当の状況のA、職員1人当たり給与につきましては、数値の算出方法を国の統計調査における算出方法に合わせたため、20年1月1日現在の数値が昨年度の当初予算で記載した数値と一部異なっておりますので、ご了解をお願いします。

次に、295ページをお願いいたします。

ここから298ページまでは債務負担行為の調書で、支出が翌年度以降にわたるものについての支出予定額を記載したものでございます。

最後に、299ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書でございます。20年度末の現在高見込額が266億692万7,000円で、21年度中の起債見込額は38億1,920万円、21年度中の元金償還見込額が26億9,822万2,000円でございますので、これらを増減しますと、平成21年度末の現在高は277億2,790万5,000円となる見込みでございます。

以上で、議案第1号の補足説明を終わらせていただきます。

議長(向後和夫) 財政課長の補足説明は終わりました。

議案の補足説明は途中ですが、昼食のため午後1時まで休憩いたします。

休憩 午前11時52分

再開 午後1時0分

議長（向後和夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案の補足説明を求めます。

議案第2号、議案第3号、議案第4号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 増田富雄 登壇）

保険年金課長（増田富雄） 議案第2号、平成21年度旭市国民健康保険事業特別会計予算について、補足説明を申し上げます。

お手元の予算書の301ページをお開きください。

第1条にございますように、歳入歳出予算の総額を、事業勘定は85億9,000万円、施設勘定は7,300万円と定めるものです。

第2条の一時借入金は、限度額を事業勘定1億円、施設勘定1,000万円と定めるものです。

第3条は、歳出予算中、款内において流用できる経費を保険給付費と定めるものです。

次の302ページから308ページは歳入歳出予算であります。これらの内容は、309ページ以降の国民健康保険事業特別会計予算に関する説明書の中で説明いたします。

初めに、事業勘定からご説明いたします。

309ページと310ページは、歳入歳出予算事項別明細書の総括ですので説明は省きまして、311ページの歳入から、予算の内容について、順を追ってご説明いたします。

それでは、311ページをお開きください。

1款国民健康保険税は、合計額は312ページの上段となりますが、25億3,951万6,000円、前年度に対し9,242万6,000円、3.5%の減を見込みました。

総額の主なものとしては、311ページに戻りまして、1項1目一般被保険者国民健康保険税が24億3,890万円。これは、一般被保険者に係る医療給付費分と介護納付金分、それと後期高齢者支援金分の合計であります。

2目退職被保険者等国民健康保険税は、1億61万6,000円。これは、退職被保険者等にかかる医療給付費分と介護納付金分、それと後期高齢者支援金分の合計であります。

なお、国保税の税率については、前年度同様、変わりございません。

313ページになります。

4款国庫支出金、1項1目療養給付費等負担金は、国の定率負担で、19億7,116万8,000円を見込みました。

2目高額医療費共同事業負担金は、市が納付する拠出金に対して、国・県がそれぞれ4分

の1を負担するもので、国の負担分を5,333万5,000円と見込みました。

3目特定健康診査事業費等負担金は、特定健診にかかわる基準費用に対し、国・県がそれぞれ3分の1を負担するもので、国の負担分を1,283万1,000円と見込みました。

2項1目財政調整交付金は4億2,925万円を見込みました。

314ページになります。

5款療養給付費等交付金は2億3,020万1,000円を見込みました。これは、退職被保険者等の医療費に対する交付金でありまして、65歳未満の該当者にかかわる交付となります。

6款前期高齢者交付金、1項1目前期高齢者交付金は7億9,217万4,000円を見込みました。これは、退職被保険者等にかかわる医療費等のうち、65歳以上74歳までの該当者にかかわる交付となります。

7款県支出金、1項1目高額医療費共同事業負担金は、国と同じ5,333万5,000円を見込みました。

2目特定健康診査等負担金も国と同じ1,283万1,000円を見込みました。

315ページになります。

2項1目県財政調整交付金は4億1,121万1,000円を見込みました。県財政調整交付金は、三位一体改革の一環として、市町村国保財政の安定化に対する県の役割・権限の強化を図るためのものです。

8款共同事業交付金は11億8,827万1,000円を見込みました。これは高額医療に対する交付金で、対象が「30万円を超え80万円まで」と「80万円を超えるもの」の二本立てとなっております。

10款繰入金、1項1目一般会計繰入金は2億9,988万8,000円を見込みました。これはすべてルール分の繰り入れであります。

316ページになります。

2項1目財政調整基金繰入金は3億7,600万円を見込みました。

11款繰越金は1億8,000万1,000円を見込みました。

317ページになります。

12款諸収入、1項延滞金及び過料は1,100万2,000円を見込みました。

3項1目特定健康診査等受託収入は1,592万6,000円を見込みました。これは、国保の特定健診に併せて後期高齢者被保険者に係る健康診査を実施することに伴う費用として、千葉県後期高齢者医療広域連合からその分を補てんしていただく見込額であります。

318ページになります。

4項雑入、1目一般被保険者第三者納付金655万1,000円は、交通事故等による第三者納付金であります。

5目雑入の主なものは、人間ドック自己負担収入で、年間480件、400万8,000円を見込みました。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

319ページになります。

1款総務費、1項1目一般管理費は、レセプト点検や電算処理委託料を含む事務費で、2,944万9,000円を見込みました。

飛びまして、322ページになります。

2款保険給付費、1項療養諸費は、20年4月診療分以降の給付実績を基に推計して、合計で46億1,013万9,000円、前年度に対し1,826万円、0.4%の増を見込みました。

323ページになります。

2項高額療養費は、1目一般被保険者高額療養費に4億8,000万円、2目退職被保険者等高額療養費に4,200万円を見込みました。3目一般被保険者高額介護合算療養費の300万円と4目退職被保険者高額療養介護合算療養費の100万円は、介護保険との合算により、平成21年度より新たに生ずるものであります。

324ページになります。

4項1目出産育児一時金の9,120万円は、1件当たり38万円で、240件を見込みました。

5項1目葬祭費の1,820万円は、1件当たり7万円で、260件を見込みました。

3款1項1目後期高齢者支援金は13億995万2,000円を見込みました。これは、後期高齢者にかかわる医療費を支えるために、全国平均の1人当たりの年間医療費に該当数をかけて算出するものであります。前年度に対して11.1%の増となっておりますのは、平成20年度が1か月分少ない11か月分の計上で済んだためであります。

326ページになります。

6款介護納付金は5億5,930万3,000円を見込みました。これは、国保加入者のうち、40歳以上65歳未満の第2号被保険者分の納付金として支払い基金に納めるものであります。

327ページの上段の計になります。

7款共同事業拠出金は12億4,709万2,000円を見込みました。これは歳入でも申し上げましたが、対象が「30万円を超え80万円まで」と「80万円を超えるもの」の二本立てからなるも

のであります。

8 款保健事業費は 1 億1,825万6,000円を見込みました。主な事業としては、特定健康診査事業が8,384万8,000円、328ページになりますが、人間ドック検査費用の85%を助成する短期人間ドック事業が2,674万4,000円、年 4 回発送の医療費通知事業が309万2,000円、健康優良家庭表彰事業が176万円であります。

329ページの下段から330ページになります。

11款諸支出金、1 項償還金及び還付加算金は800万5,000円を見込みました。これは過年度分の保険税還付金が主なものであります。

3 項 1 目他会計繰出金は600万1,000円を見込みました。これは、旭中央病院の医療相談室への国庫補助金を、国保会計を経由して旭中央病院へ繰り出すものであります。

332ページは給与費明細書であります。

続いて、施設勘定についてご説明いたします。

333ページと334ページは、歳入歳出予算事項別明細書の総括ですので説明は省きまして、335ページの歳入から、予算の内容について、順を追ってご説明いたします。

それでは、335ページをお開きください。

1 款診療収入、1 項外来収入は、診療時間が 1 週間当たり半日増えることにより、前年度に対し258万円、4.7%増の5,720万7,000円を見込みました。

336ページになります。

2 項その他の診療収入、1 目諸検査等収入は354万8,000円を見込みました。これは、予防接種等の一般健康診査料が主なものであります。

337ページになります。

6 款繰入金、1 項 1 目他会計繰入金は、一般会計よりルール分の繰入金710万1,000円を見込みました。

338ページになります。

7 款繰越金は450万円を見込みました。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。340ページになります。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は、診療時間が増えることなどから、前年度に対し286万4,000円、8.1%増の3,828万7,000円を見込みました。

飛びまして、343ページになります。

2 款医業費、1 項 3 目医薬品衛生材料費は3,083万4,000円を見込みました。

345ページから348ページは給与費明細書であります。

なお、本予算案につきましては、去る2月20日に開催されました国民健康保険運営協議会において審議いたしましたことを付け加えさせていただきます。

以上で、議案第2号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第3号、平成21年度旭市老人保健特別会計予算について、補足説明を申し上げます。

お手元の予算書の349ページをお開きください。

第1条にございますように、歳入歳出予算の総額を6,700万円と定めるものであります。

次の350ページ、351ページは歳入歳出予算であります。これらの内容は、353ページ以降の老人保健特別会計予算に関する説明書の中で説明いたします。

353ページ、354ページは事項別明細書の総括ですので、説明を省かせていただきます。

355ページになります。

初めに、歳入についてご説明申し上げます。

1款支払基金交付金は107万1,000円、前年度に対し2億354万7,000円、99.5%の減を見込みました。これは、平成20年3月診療分をもちまして老人保健制度が終了し、以後は過誤調整分等の精算のみとなることから、会計規模を大きく縮小させるものであります。以下、大幅な縮小につきましては、同じ理由となりますことをご了承いただきたいと思います。

1款の内訳としましては、1項1目医療費交付金に105万1,000円、2目診査支払手数料交付金に2万円であります。

2款国庫支出金と3款県支出金は科目設定のみとなります。

356ページになります。

4款繰入金は、一般会計から35万3,000円を見込みました。

5款繰越金は6,500万円を見込みました。

357ページになります。

6款諸収入、3項雑入、1目第三者納付金57万円は、交通事故等による第三者納付金であります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。358ページから359ページにかけてご説明いたします。

1款総務費は18万9,000円を見込みました。内訳としましては、老人保健事務費に15万4,000円を、また医療費適正化事業費は3万5,000円で、これは、老人保健システムの電算業

務委託料と第三者行為求償事務委託料が主なものでございます。

2 款医療諸費は206万円、前年度に対し 3 億9,158万9,000円、99.5%の減を見込みました。

359ページが一番下になりますが、3 款諸支出金、2 項 1 目一般会計繰出金は、老人保健会計の精算に向けて、一般会計から繰り入れておりました一部を返還するもので、6,000万円を計上いたしました。

以上で、議案第 3 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 4 号、平成21年度旭市後期高齢者医療特別会計予算について、補足説明を申し上げます。

お手元の予算書の361ページをお開きください。

第 1 条にございますように、歳入歳出予算の総額を 3 億9,500万円と定めるものであります。

次の362ページ、363ページは歳入歳出予算であります。これらの内容は、365ページ以降の後期高齢者医療特別会計予算に関する説明書の中で説明いたします。

367ページになります。

初めに、歳入についてご説明申し上げます。

1 款保険料は 2 億6,894万9,000円、前年度に対し8,145万1,000円、23.2%の減を見込みました。

内訳として、1 項 1 目特別徴収保険料に 1 億9,106万8,000円、2 目普通徴収保険料に 7,689万2,000円、3 目滞納繰越分普通徴収保険料に98万9,000円であります。これらは、市町村が徴収事務を受け持つということから計上するものでありまして、介護保険料の徴収と同様に、年金受給額の規模に応じまして年金から天引きする方法と普通徴収に分かれるものであります。また、保険料率ですが、前年度同様、所得割が6.16%、均等割が 3 万2,400円、賦課限度額が50万円となるものであります。

なお、所得の状況によりまして、均等割で 9 割、7 割、5 割、2 割の軽減措置、所得割で 5 割の軽減措置がとられるものであります。

2 款繰入金は、一般会計から 1 億1,911万円、前年度に対し 2 億9,548万6,000円、71.3%の減を見込みました。これは、徴収事務等に係る事務経費と、保険料の軽減分に対する県と市の負担分を繰り入れるものであります。また、前年度は、これに療養費にかかわる市の負担分が含まれておりましたが、その部分に関しましては、平成21年度からはこの会計を通さず、一般会計から直接、広域連合に納めることになりましたことから、対前年度比が大幅な

減少となるものであります。

3 款繰越金は500万円を見込みました。

368ページになります。

4 款諸収入、2 項償還金及び還付加算金は118万1,000円を見込みました。これは、過年度における資格の喪失等に伴い、納め過ぎた保険料を精算するもので、広域連合より全額が補てんされるものであります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

369ページになります。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は、広域連合に代わって各種届け出を処理するための事務的経費で、820万4,000円を見込みました。

2 項 1 目徴収費は保険料の徴収に要する経費で、286万7,000円を見込みました。

370ページになります。

2 款 1 項 1 目広域連合納付金は3 億7,774万8,000円を見込みました。これは、徴収した保険料と保険料の軽減分に対する県と市の負担分をそのまま広域連合へ支出するものであります。また、対前年度が大幅に減少した理由は、歳入の2 款において申し上げましたが、療養費にかかわる市の負担分が、平成21年度よりこの会計を通さず、一般会計から直接、広域連合へ支払うことになったためであります。

3 款 1 項償還金及び還付加算金は118万1,000円を見込みました。これは歳入の4 款のところでも申し上げましたが、過年度分における資格の喪失等に伴い、納め過ぎた保険料を精算するものであります。

以上で、議案第4号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 保険年金課長の補足説明は終わりました。

議案第5号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 横山秀喜 登壇）

高齢者福祉課長（横山秀喜） 議案第5号、平成21年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

それでは、予算書の373ページをお開きください。

第1条で、歳入歳出予算の総額を36億3,800万円と決めました。

第2条は、歳出予算中、各項において流用できる経費は保険給付費とするものです。

次の374ページから380ページまでは説明を省略させていただきまして、381ページの歳入

から、予算の内容について主なものをご説明申し上げます。

1 款保険料、1 項 1 目第 1 号被保険者保険料は、納付義務者数を 1 万6,315人と見込み、対前年度5.5%の増です。

なお、第 1 号被保険者保険料につきましては、全員協議会でご説明申し上げましたが、議案第25号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定についてを上程させていただきましたので、そこで補足説明いたします。

内訳は、1 節現年度分特別徴収保険料を現年度分の90%に当たる 5 億3,474万5,000円とし、2 節現年度分普通徴収保険料に4,931万5,000円、3 節過年度分普通徴収保険料に247万6,000円をそれぞれ見込みました。

2 款国庫支出金ですが、1 項 1 目介護給付費負担金は 6 億1,483万7,000円を、2 項 1 目調整交付金は介護保険の財政調整を行うため交付されるもので、保険給付費の6.47%を見込み 2 億2,627万5,000円を、2 目地域支援事業交付金に2,788万4,000円をそれぞれ見込みました。382ページになります。

3 款支払基金交付金、1 項 1 目介護給付費交付金は、第 2 号被保険者の介護納付金に係る社会保険診療報酬支払基金からの交付金で10億4,919万5,000円を、2 目地域支援事業支援交付金に1,081万2,000円を見込みました。

4 款県支出金、1 項 1 目介護給付費負担金は 5 億2,179万1,000円を、2 項 1 目地域支援事業交付金に1,394万3,000円を見込みました。

383ページの中段になります。

6 款繰入金、1 項 1 目介護給付費繰入金は 4 億3,716万5,000円、2 目地域支援事業繰入金に1,394万3,000円を、3 目介護保険事務費繰入金に4,096万6,000円をそれぞれ見込みました。

同じく 6 款繰入金の 2 項 1 目介護保険給付費準備基金繰入金6,400万円は、介護保険料の上昇を抑制する目的で歳入不足額を繰り入れるものです。

384ページの 2 目介護従事者処遇改善臨時特例基金繰入金は、議案第20号で提案させていただきました基金を、平成21年度1,751万4,000円取り崩すものです。その他経費172万円は、周知等の広報啓発経費を見込んでおります。

385ページになります。

8 款 2 項 2 目雑入の428万2,000円は、説明欄記載のとおり、地域支援事業の利用収入を見込みました。

以上で、歳入関係の説明を終わります。

続きまして、386ページをお開きください。

歳出の主なものについてご説明申し上げます。

1款総務費、1項1目一般管理費は、一般事務経費で337万3,000円を、2項1目賦課徴収費は、賦課徴収に係る事務経費で331万円を、3項1目介護認定審査会費は、介護認定審査会開催を毎週2回、年96回と見込み2,103万8,000円を、2目認定調査費は、認定調査に係る経費を1,343万3,000円と見込み、それぞれ計上しました。

389ページの下段の表になります。

2款保険給付費は、第4期介護保険事業計画で推計し定めております。保険給付費の総額では、この表に記載はございませんが、34億9,731万5,000円で、対前年度8.5%の増を見込み計上しました。

1項1目の居宅介護サービス給付費は、訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、福祉用具貸与などのサービス給付費で11億9,229万9,000円を計上しました。

2目地域密着型介護サービス給付費ですが、原則として市民のみが利用可能のサービスで、利用者は、認知症対応型通所介護に18人、グループホームに39人、小規模特別養護老人ホームに45人を見込み、2億7,584万7,000円を計上しました。

390ページになります。

3目施設介護サービス給付費は、利用者を老人福祉施設329人、老人保健施設196人、療養型医療施設4人の合計529人を見込み、15億5,936万2,000円を計上しました。

391ページの中段になります。

6目居宅介護サービス計画給付費は1億4,186万3,000円を見込みました。

2項介護予防サービス等諸費は要支援者の保険給付費で、利用者を259人と見込み、それぞれ計上しました。

393ページの下段になります。

3項1目審査支払手数料は、千葉県国保連合会が行う審査に係る手数料で、381万4,000円を見込みました。

394ページになります。

4項1目高額介護サービス費は4,642万3,000円を計上しました。

同じページの下段になります。

5項1目高額医療合算介護サービス費は平成21年度より新たに導入される制度で、同じ世帯で医療保険と介護保険の自己負担の合計額が高額になった場合、一定の限度額を超えた部

分が支給されるものです。限度額は年額56万円を基本とし、各医療保険や所得区分ごとに設定されます。この制度での対象世帯を3%と見込み、1,356万1,000円を計上しました。

同様に、395ページの2目高額医療合算介護予防サービス費は39万1,000円を計上しました。

395ページから396ページにかけてですが、6項特定入所者介護サービス等費は、低所得者対策としての食費、居住費の補足給付分で、1億2,378万5,000円を計上しました。

3款財政安定化基金拠出金は千葉県財政安定化基金へ拠出するものですが、県の第4期介護保険事業計画では、一定の基金が確保されたことから新たな積み立てを行わないことになりましたので、科目設定のみといたしました。

5款地域支援事業費ですが、この地域支援事業に対する負担の割合が変更となりまして、1項介護予防事業費は介護保険制度と同率で、第1号被保険者が20%、第2号被保険者が30%、国が25%、県と市が12.5%ずつで、399ページの2項包括的支援事業費及び401ページの3項任意事業費は、第1号被保険者が20%、国が40%、県と市が20%であります。

397ページに戻っていただきまして、1項1目介護予防特定高齢者施策事業費は2,592万3,000円を計上しました。大幅な減となりましたのは、説明欄1の特定高齢者把握事業において実施方法を改めたこと、及び説明欄2の通所型介護予防事業について、実績に基づき計上したことによるものです。

398ページになります。

2目介護予防一般高齢者施策事業費は、特定高齢者以外の一般高齢者を対象とした事業費を1,050万6,000円と見込みました。

399ページになります。

2項1目包括的支援事業費は、地域包括支援センターが実施する特定高齢者の介護予防ケアマネジメント事業、総合相談等の経費と包括的支援関係職員の人件費を見込み、2,291万2,000円を計上しました。増額となりましたのは、人件費を1名から2名にふやしたことによるものです。

401ページになります。

3項1目任意事業費は2,816万9,000円を見込み、説明欄記載の家族介護用品給付事業、介護相談員派遣事業、配食サービス事業などを実施いたします。

403ページになります。

7款予備費は1,000万円を計上いたしました。

以上で、歳出の説明を終わります。

続きまして、405ページから409ページは給与費明細書となっております。

以上で、議案第5号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第6号について、下水道課長、登壇してください。

（下水道課長 中野博之 登壇）

下水道課長（中野博之） 議案第6号、平成21年度旭市下水道事業特別会計予算について、補足説明を申し上げます。

お手元の予算書の411ページをお開きください。

平成21年度当初予算の総額は、第1条にございますように、歳入歳出をそれぞれ12億7,700万円に定めるものでございます。これは、前年度比較4億6,900万円、58%の増でございます。

第2条、第3条につきましては、第2表、第3表でご説明申し上げます。

第4条の一時借入金は、最高額を2億円に定めるものでございます。

415ページをお開きください。

第2表債務負担行為であります。中央污水ポンプ場建設事業として限度額6億773万円を計上するものです。内容であります。平成21年度から23年度にかけて、中央污水ポンプ場を対象とし設定するものであります。

416ページをお開きください。

第3表地方債であります。限度額4億3,500万円を計上するものです。内容であります。管渠処理場及び中央ポンプ場等を対象とし、起債の算定をしたものであります。

歳入についてご説明申し上げます。

419ページをお開きください。

1款分担金及び負担金、1項1目下水道事業負担金は1,870万1,000円で、対前年度比較1,962万3,000円、51.2%の減であります。これは下水道事業受益者負担金でありまして、平成20年3月までに供用を開始した153.7ヘクタールの区域で分割納入される方の21年度納付分と、平成21年3月末に新たに供用開始をする二袋地区の2.6ヘクタールの受益者負担金を算定し、計上いたしました。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料は5,229万1,000円で、前年度比較33万1,000円、0.6%の増であります。これは下水道の使用料金でありまして、20年度の実績を基に算定して計上しました。

3 款国庫支出金、1 項 1 目下水道事業費国庫補助金は 3 億 650 万円で、前年度比較 2 億 1,450 万円、233.2%の増であります。これは国庫補助対象事業に対する国からの補助金でありまして、補助率は 2 分の 1 であります。

420 ページをお開きください。

5 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金は 4 億 4,524 万 2,000 円で、前年度比較 5,133 万 8,000 円、13%の増であります。歳入歳出の差引分を一般会計から繰り入れるものであります。

421 ページをご覧ください。

8 款市債、1 項 1 目下水道債は 4 億 3,500 万円で、前年度比較 2 億 2,950 万円、111.7%の増であります。これは、対象工事費から国の補助金を除き、補助対象分・単独事業分の起債区分により算定するもので、建設事業の工事費が起債の対象となります。

以上で、歳入関係の説明を終わらせていただきます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

424 ページをお開きください。

説明欄 3 の下水道普及促進費、8 節報償費の報償金は 72 万円で、受益者負担金の前納報奨金であります。受益者負担金を納期前に納付した場合、最高で 10%、10 万円を限度として報奨金を交付するものであります。

425 ページをご覧ください。

2 款事業費、1 項 1 目維持管理費は 1 億 3,310 万 1,000 円で、前年度比較 74 万 8,000 円、0.6%の減であります。

説明欄 2 の施設維持管理費の主な内容といたしまして、426 ページをお開きください。13 節委託料の運転業務委託料 6,305 万 3,000 円、水質分析委託料 337 万 1,000 円、汚泥等運搬処理業務委託料 722 万円、これらはいずれも下水道施設等の運転管理並びに汚泥処分等に必要な業務であり、専門業者に委託するものであります。

427 ページをご覧ください。

2 項 1 目工事費は 7 億 7,524 万 9,000 円、前年度比較 4 億 6,925 万 5,000 円、153.4%の増であります。主な内容といたしましては、説明欄 1 の下水道建設事業、13 節委託料の面整備等委託料 8,500 万円は、国道 126 号の袋西交差点から北側の県道旭小見川線部分に管渠を埋設するものであります。処理場等整備委託料 3 億 7,600 万円は、処理場内の高段ポンプ棟及び水処理設備等の工事を行うものであります。また、ポンプ場等整備委託料 1 億 6,857 万円は、現在、市役所本庁舎敷地内に暫定的に設置されておる中継用マンホールポンプを、汚水流入

量の増加に併せて、中央汚水ポンプ場として平成21年度から3か年事業として行うものであります。

428ページをお開きください。

15節工事請負費の管渠工事は1億3,002万円で、二袋地区の9.9ヘクタールの面整備工事で、20年度に面整備工事を実施した二袋地区の舗装復旧工事を予定しております。

3款公債費、1項1目元金は1億9,417万8,000円で、前年度比較670万9,000円、3.6%の増であります。これは下水道債の償還元金であります。

1項2目利子は9,556万4,000円で、前年度比較45万7,000円、0.5%の減であります。これは下水道債の償還利子であります。

以上で、歳出の説明を終わらせていただきます。

435ページをお開きください。

浄化センター建設事業及び中央汚水ポンプ場建設事業に対する債務負担行為で、平成22年度以降にわたるものについての平成21年度以降の歳出予定額等に関する調書で、平成21年度以降の支出予定額は、浄化センター建設事業が8億8,520万円、中央汚水ポンプ場建設事業が6億773万円であります。

最後になりますが、436ページをお開きください。

地方債の現在高の見込みに関する調書であります。平成21年度末の現在高見込額はおおむね45億円になる見込みであります。

以上で、議案第6号の補足説明を終わらせていただきます。

議長（向後和夫） 下水道課長の補足説明は終わりました。

議案第7号について、農水産課長、登壇してください。

（農水産課長 堀江隆夫 登壇）

農水産課長（堀江隆夫） それでは、議案第7号、平成21年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について、補足説明を申し上げます。

予算書の説明に入ります前に、農業集落排水事業の普及状況につきまして申し上げます。

平成21年1月末における江ヶ崎地区の普及状況につきましては、処理区域内人口1,466人に対しまして使用人口は1,059人で、普及率72.2%であります。琴田地区は、処理区域内人口691人に対して使用人口442名で、普及率64.0%であります。

それでは、予算書の437ページをお開きください。

平成21年度当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ5,280万円と決めました。前年度予算額

5,154万3,000円に対して2.4%の増です。

次の438ページの歳入歳出予算から442ページの歳入歳出予算事項別明細書の総括までの説明は省きまして、443ページの歳入から、予算の順を追って説明を申し上げます。

それでは、443ページをお開きいただきたいと思います。

1 款分担金及び負担金、1 項 1 目受益者分担金は252万円で、対前年度42万円、20%の増であります。

2 款使用料及び手数料、1 項 1 目施設使用料は1,449万円で、対前年度36万5,000円、2.6%の増であります。施設使用料は、既に農業集落排水施設を使用している世帯の実績及び新規に使用する世帯で見込んでおります。

3 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金は3,228万7,000円で、対前年度302万7,000円、8.6%の減であります。これは、歳入歳出の差し引き不足額を一般会計から繰り入れするものであります。

4 款繰越金、1 項 1 目繰越金350万円は前年度繰越金であります。

以上で、歳入の説明を終わります。

続きまして、歳出につきましてご説明をいたします。

445ページをお開きいただきたいと思います。

1 款総務費、1 項 1 目一般管理費は、農業集落排水事業に係る職員の人件費及び管理経費991万円で、対前年度57万8,000円、6.2%の増であります。

446ページをお開きいただきたいと思います。

2 款事業費、1 項 1 目維持管理費は1,797万7,000円で、対前年度16万6,000円、0.9%の増であります。

説明欄 1 の江ヶ崎地区排水施設維持管理費は1,049万4,000円で、主なものとしましては、光熱費327万6,000円、修繕費300万6,000円、維持管理業務委託料294万7,000円であります。

続きまして、説明欄 2 の琴田地区排水施設維持管理費は748万3,000円で、主なものは、光熱水費144万6,000円、修繕料280万円、維持管理業務委託料232万円であります。

2 目資源循環事業費は43万3,000円、農業集落排水施設から排水されず汚泥を肥料として還元するための費用であります。

448ページをお開きいただきたいと思います。

3 款公債費、1 項 1 目元金1,504万4,000円、2 目利子591万6,000円は、農業集落排水整備によります借入金の償還金であります。

以上で、歳出の説明を終わります。

次に、450ページをお開きいただきたいと思います。

給与費明細書であります。職員数、給与費、共済費、職員手当等につきまして、対前年度との比較表であります。

451ページから453ページにつきましては、ご覧いただきまして、説明は省略させていただきます。

454ページをお開きいただきたいと思います。

地方債の現在高に関する調書でありまして、表の右欄ですが、平成21年度末現在高見込額は2億9,957万1,000円であります。

以上で、議案第7号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 農水産課長の補足説明は終わりました。

議案第8号について、水道課長、登壇してください。

（水道課長 堀川茂博 登壇）

水道課長（堀川茂博） 議案第8号、平成21年度旭市水道事業会計予算について、補足説明を申し上げます。

予算書の1ページをお開きください。

業務の予定量は、給水件数を1万8,682件に、年間給水量を619万3,530立方メートルとし、1日平均給水量1万6,969立方メートルを予定いたしました。主な建設改良事業として、配水管布設工事等に2億5,775万1,000円を予定いたしました。

次に、第3条で収益的収入及び支出を、2ページの第4条で資本的収入及び支出を、それぞれ記載額のとおり定めました。内容につきましては、5ページの実施計画により説明をいたします。

次は3ページでございます。

第5条は債務負担行為でございます。この4月からスタートする旭市水道お客様センターの業務を委託するに当たり、複数年契約とすることを予定いたしましたので、設定するものでございます。債務負担行為の期間は平成21年度から平成25年度までの5か年、限度額は1億6,073万2,000円と定めるものでございます。

第6条は企業債でございまして、21年度も引き続き給水区域内の施設の一体化と水質・圧力改善等を図るための配水管整備事業及び旭排水場塩素滅菌設備の更新、高利率借り入れ分の繰上償還等を行うために借り入れるもので、起債の目的、限度額等を定めたものでござい

ます。

続いて、4ページをお開きください。

第7条は、一時借入金の限度額を8,000万円と定めるものでございます。

第8条は、予定支出の各項で流用ができる項を定めるものでございます。

第9条は、職員給与費、交際費を、議会の議決を経なければ流用できない経費として定めるものでございます。

第10条は、高料金対策等のため一般会計から受ける補助金を5,675万3,000円とするものであります。

第11条は、たな卸資産の購入限度額を319万4,000円と定めるもので、これは水道メーターの購入費となっております。

次に、5ページをお開きください。

平成21年度旭市水道事業会計予算実施計画でございます。収益的収入及び支出の収入につきましては、第1款水道事業収益16億9,040万5,000円で、前年度に比べて6,529万2,000円、3.7%の減を予定いたしました。

1項営業収益15億8,623万1,000円の内訳につきましては、1目給水収益15億6,922万4,000円は水道料金で、有収水量を588万3,855立方メートルを見込みました。

2目受託工事収益1,052万5,000円は、下水道工事などによる水道管切り回し工事の受託収益でございます。

3目その他営業収益648万2,000円は、一般会計からの消火栓維持管理負担金530万6,000円、及び宅内工事検査等の手数料となっております。

2項営業外収益は1億417万4,000円を予定いたしました。

この主な内訳について、2目他会計補助金5,675万3,000円は、一般会計からの高料金対策等としての補助金です。

3目補助金4,741万円は、県からの市町村水道総合対策事業補助金となっております。

次に、支出でございますが、6ページをお開きください。

1款水道事業費用は15億6,827万6,000円で、前年度に比べて7,214万8,000円、4.4%の減を予定いたしました。

1項営業費用14億4,844万1,000円の主な内訳について、1目原水及び浄水費8億4,656万2,000円は受水費となっております。

2目配水及び給水費1億9,292万4,000円の主なものは、配水施設維持管理運営費及び工務

班職員の人件費などがございます。

3目受託工事費1,052万5,000円は、先ほどの収入の欄の受託工事収益で説明いたしました下水道工事等に係る水道管の切り直し工事費となっております。

4目総係費1億4,735万6,000円は、管理棟の維持管理費及び水道料金収納事務に係る費用、並びに業務班の職員の人件費などがございます。

5目減価償却費は2億3,902万円を予定いたしました。

6目資産減耗費1,205万4,000円は、旧干潟の簡易水道施設の解体撤去に伴う除却費でございます。

2項営業外費用は1億3,056万3,000円を予定いたしました。内訳は、1目支払利息及び企業債取扱諸費1億101万5,000円、2目消費税及び地方消費税1,254万8,000円となっております。

3項特別損失は、過年度損益修正損として327万2,000円を予定いたしました。

4項予備費は300万円を予定いたしました。

次は、7ページでございます。

資本的収入及び支出の内訳でございます。

収入につきましては、1款資本的収入で3億9,013万6,000円、前年度に比べて1億2,056万3,000円、44.7%の増を予定いたしました。

1項1目企業債2億9,340万円は、配水管の整備等に充てる企業債に1億8,390万円、高利率借り入れ分の繰上償還に伴う借換債に1億950万円を予定いたしました。

2項1目出資金の6,250万円は、合併特例債活用事業収入として一般会計からの出資金を予定いたしました。

3項1目負担金の747万6,000円は、消火栓設置に係る一般会計からの負担金となっております。

4項1目給水申込納付金は2,676万円を予定いたしました。

支出につきましては、1款資本的支出は9億2,837万5,000円で、前年度に比べて1億7,480万3,000円、23.2%の増を予定いたしました。

1項1目拡張工事費2億5,775万1,000円は、給水区域内の施設の一体化と水質や圧力改善等を図るための配水管布設工事等がございます。

2目固定資産取得費4,856万3,000円は、塩素滅菌設備の更新と量水器の購入費などとなっております。

2項1目企業債償還金は6億2,006万1,000円を予定いたしました。

3項1目予備費は200万円を予定いたしました。

大変恐れ入りますが、2ページに戻らせていただきます。第4条の中ほどになります。

この資本的収支の不足額5億3,823万9,000円につきましては、括弧書きに記載されておりますが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,106万4,000円、及び過年度分損益勘定留保資金5億2,717万5,000円で補てんをするものでございます。

次に、8ページをお開きください。

この表は平成21年度の資金計画となっております。当年度末の現金4億157万円を予定いたしました。

次の9ページから12ページまでは職員給与費関係の明細となっております。職員の各種支給要件などは一般会計の職員と同じでございます。

13ページは債務負担行為に関する調書でございます。当該年度以降の支払義務発生期間及び予定額等を定めたものでございます。

14ページから16ページにつきましては、平成21年度末の予定貸借対照表となっております。予定では、16ページ下段になりますが、平成21年度の純利益は1億1,091万3,000円、欠損金合計で2,137万円となる見込みでございます。

17ページから21ページにつきましては、平成20年度末の予定損益計算書及び予定貸借対照表でございます。予定では、21ページ下段になりますが、平成20年度で1億52万7,000円の純利益が見込まれるため、累積欠損金は減少し、欠損金合計では1億3,228万3,000円となる見込みでございます。

以上で、議案第8号についての補足説明を終了させていただきます。よろしくお願いいたします。

議長（向後和夫） 水道課長の補足説明は終わりました。

議案の補足説明は途中ですが、ここで2時15分まで休憩いたします。

休憩 午後 2時 1分

再開 午後 2時14分

議長（向後和夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案の補足説明を求めます。

議案第9号について、病院経理課長、登壇してください。

(病院経理課長 鈴木清武 登壇)

病院経理課長(鈴木清武) 議案第9号、平成21年度旭市病院事業会計予算について、補足説明を申し上げます。

まず最初に、予算書の1ページをお開きください。

第1条は総則であります。

第2条は業務の予定量であります。1、事業量の(1)事業計画ですが、病床数は956床で、患者数は、イ、入院患者数29万9,650人、ロ、外来患者数83万3,256人を見込みました。また、介護老人保健施設は、イ、入所者数3万3,617人、ロ、通所者数6,560人を見込みました。

2ページをお開きください。

養護老人ホームは、イ、入所者数1万8,177人、ロ、短期入所者数730人、特別養護老人ホームは、イ、入所者数1万8,068人、ロ、短期入所者数730人、ケアハウスは入所者数1万4,527人を見込んだところであります。

2、資本的支出の(1)建設改良計画についてであります。工事費64億6,883万円は、再整備事業新本館建設工事や再整備事業改修工事設計料などを予定いたしました。資産購入費13億7,199万3,000円は、医療機械器具の購入やソフト開発費を予定いたしました。

3、職員計画は1,731人です。

次に、第3条収益的収入及び支出の予定額、及び第4条資本的収入及び支出の予定額についてであります。7ページからの実施計画により説明申し上げますので、7ページをお開きください。

平成21年度旭市病院事業会計予算実施計画であります。

収益的収入及び支出であります。収入につきまして、1款病院事業収益は311億705万3,000円を予定いたしました。

1項医業収益は282億7,513万円を見込みました。主な内訳ですが、1目入院収益は138億6,539万1,000円、2目外来収益は134億6,612万5,000円を予定いたしました。積算に当たっては、患者数の実績や近年の診療単価の推移、神経精神科の診療縮小による影響等を勘案いたしました。

2項医業外収益は17億6,679万8,000円を予定いたしました。主な内訳であります。2目

補助金 1 億6,822万8,000円は、臨床研修費補助金など病院の運営に対しての国・県からの各種補助金であります。3 目負担交付金13億37万3,000円は、病院事業に対する一般会計からの繰入金でありまして、交付税算定額を見込んで計上いたしました。

なお、このほかに、看護学校に9,942万9,000円、養護老人ホームに2,071万8,000円、ケアハウスに2,196万4,000円が繰り入れられておりまして、市からの繰入金の合計は14億4,248万4,000円でございます。

次の 8 ページをお開きください。

3 項から 7 項については、各附属施設の収益でございます。

次に、支出であります。9 ページをお開きください。

1 款病院事業費用は310億717万1,000円を予定いたしました。

1 項医業費用は282億3,087万2,000円を見込みました。主な内訳であります。1 目給与費136億2,131万7,000円は病院職員に係る給与費で、派遣職員を臨時職員に移行した影響を勘案し計上いたしました。2 目材料費93億4,979万6,000円は、薬品、診療材料、給食材料などでございます。3 目経費31億7,027万8,000円は、光熱水費、修繕費並びに委託費などでございます。4 目減価償却費は18億7,316万円で、建物、器具及び備品などの有形固定資産に対する償却費を計上いたしました。

2 項医業外費用は14億6,922万5,000円であります。主な内訳であります。1 目支払利息及び企業債取扱諸費 3 億8,140万円、3 目雑損失 5 億5,184万8,000円、4 目繰延勘定償却 5 億993万円などあります。

10ページをお開きください。

3 項看護師確保対策事業費用 3 億1,902万2,000円は、職員の給与費や学生の教育費、奨学金などがございます。

次の 4 項から 7 項までは、いずれも各附属施設の職員給与及び材料費、経費などが主な内容であります。

また、9 項予備費は5,000万円を計上いたしました。

次に、11ページは資本的収入及び支出であります。

収入につきましては、1 款資本的収入は61億8,870万5,000円を予定いたしました。

1 項 1 目企業債55億円は、再整備事業に係る企業債借入金であります。

2 項 1 目補助金 6 億8,765万5,000円は、再整備事業に係る県補助金や医療機械購入に係る補助金であります。

3項1目固定資産売却代金は105万円を見込みました。

支出ですが、1款資本的支出は91億2,814万4,000円を予定いたしました。

1項建設改良費は78億4,082万3,000円を予定しております。そのうち1目工事費64億6,883万円は、再整備事業新本館建設工事や再整備事業改修工事設計料などを予定したものであります。また、2目資産購入費13億7,199万3,000円は、医療機械器具購入10億5,000万円、ソフト開発費3億1,500万円などであります。

2項1目企業債償還金は12億8,732万1,000円であります。

ここで、次に4ページに戻らせていただきます。

第4条資本的収入及び支出の本文括弧書きであります。これは、資本的収入61億8,870万5,000円、資本的支出91億2,814万4,000円により生ずる不足額29億3,943万9,000円を、損益勘定留保資金及び建設改良積立金などで補てんしようとするものであります。

第5条は継続費について定めるものであります。再整備事業新本館建設工事、総額194億8,475万円は、平成20年度から22年度まで3か年の継続事業として予定したもので、年割額は、平成20年度1億6,380万円、平成21年度61億7,801万5,000円、平成22年度131億4,293万5,000円であります。また、平成21年度から22年度まで2か年の継続事業といたしまして再整備事業改修工事設計料、総額1億3,534万5,000円を予定しております。こちらの年割額は、平成21年度3,691万3,000円、平成22年度9,843万2,000円であります。

5ページをお開きください。

第6条は企業債について定めるもので、再整備事業新本館建設工事を目的として54億7,000万円、再整備事業改修工事設計料として3,000万円の起債を予定いたしました。

第7条は、一時借入金の限度額を50億円と定めるものであります。

第8条は、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる項を定めるものであります。

第9条は、職員給与費、交際費を議会の議決を経なければ流用することができない経費として定めるものであります。

6ページをお開きください。

第10条は、たな卸資産の購入限度額を109億9,350万円と定めるものであります。

第11条は、重要な資産の取得及び処分を定めるもので、記載のとおり、自動精算機の増設など11件を予定いたしました。

次に、12ページをお開きください。

平成21年度資金計画であります。一番下の行のとおり、年度末の差し引き残高を45億3,567万4,000円と予定いたしました。

次の13ページからは平成21年度予定貸借対照表であります。17ページの下から5行目の八、当年度未処分利益剰余金は、当期利益金を含めて14億7,963万2,823円となる見込みであります。

以下、18ページからは平成20年度予定損益計算書、21ページからは平成20年度予定貸借対照表となっております。その後、26ページからは給与費明細書、33ページからは実施設計内訳書、45ページからは継続費に関する調書となっております。

以上で、議案第9号についての補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 病院経理課長の補足説明は終わりました。

議案第10号について、国民宿舎支配人、登壇してください。

（国民宿舎支配人 野口國男 登壇）

国民宿舎支配人（野口國男） 議案第10号、平成21年度旭市国民宿舎事業会計予算について、補足説明を申し上げます。

予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は総則でございます。

第2条は業務の予定量でございます。客室数につきましては30室、広間及び会議室は各1室を予定いたしました。年間の利用者数でございますが、宿泊を1万6,000人、休憩を5,000人とし、1日平均利用者数を、宿泊につきましては43人、休憩を13人と予定いたしました。

次に、第3条で収益的収入及び支出、2ページの第4条で資本的支出を記載のとおり定めました。内容につきましては、実施計画により説明いたします。

次に、3ページの第5条一時借入金は、その限度額を5,000万円と定めるものでございます。

第6条は、職員給与費9,381万2,000円を、議会の議決を経なければ流用できない経費として定めるものでございます。

第7条は、一般会計からの補助金を279万1,000円と定めるものでございます。

第8条は、たな卸資産の購入限度額を5,998万7,000円と定めるものでございます。

5ページをお開きください。

平成21年度旭市国民宿舎事業会計予算実施計画でございます。

収益的収入及び支出の収入につきましては、第1款国民宿舎事業収益を2億3,022万6,000

円と予定いたしました。

第1項営業収益は2億2,635万5,000円と予定いたしました。内訳につきましては、1目利用収益2億855万2,000円は、宿泊料及び食事料等でございます。2目売店収益1,567万円は、土産品及び販売機等の売上げでございます。3目その他営業収益213万3,000円は、配膳料等の雑収入でございます。

第2項営業外収益は387万1,000円と予定いたしました。主な内容といたしまして、1目補助金279万1,000円は、市営プール維持管理に伴う一般会計からの補助金でございます。2目雑収益108万円は、臨時職員の雇用保険料等でございます。

次に支出でございますが、6ページをお願いいたします。

第1款国民宿舎事業費用は2億3,730万1,000円と予定いたしました。

第1項営業費用は2億2,259万9,000円と予定いたしました。内訳につきましては、1目宿舎経営費1億9,948万8,000円は、人件費、食事材料費等でございます。2目減価償却費は2,261万3,000円を予定いたしました。3目資産減耗費は49万8,000円を予定いたしました。

第2項営業外費用1,370万2,000円は、1目企業債利息、2目繰延勘定償却費、3目雑支出、4目消費税を予定いたしました。

第3項予備費は100万円を予定をいたしました。

次に、7ページをお願いいたします。

資本的支出につきましては、467万5,000円を予定いたしました。

1項建設改良費は367万5,000円と予定いたしました。内訳につきましては、1目工事費262万5,000円は、会議室及び広間改修工事等を予定いたしました。2目資産購入費105万円は、厨房等の備品購入費を予定いたしました。

2項予備費は100万円を予定をいたしました。

ここで、2ページに戻っていただきたいと思えます。

第4条でございます。資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額467万5,000円につきましては、消費税及び地方消費税資本的収支調整額22万3,000円、当年度分損益勘定留保資金445万2,000円で補てんするものでございます。

次に、8ページをお願いいたします。

この表は、平成21年度旭市国民宿舎事業会計資金計画でございます。年度末の現金を5,659万9,000円と予定いたしました。

次に、9ページから12ページは給与費明細書でございます。

次に、13ページから15ページまでは平成21年度末の予定貸借対照表でございます。15ページの中段でございますけれども、予定では、この期間の純損失は729万8,000円で、繰越欠損金と合わせて5,816万円が当年度未処理欠損金となる見込みでございます。

なお、平成21年度は損失経営となりますが、減価償却費、資産減耗費、繰延勘定償却費を合わせて2,700万円の内部留保資金の発生を見込んでおります。このうち、純損失729万8,000円を除いた1,970万2,000円が現金ベースで黒字化となる予定でございます。

以上で、議案第10号について補足説明を終了させていただきます。よろしく申し上げます。
議長（向後和夫） 国民宿舎支配人の補足説明は終わりました。

議案第11号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 平野哲也 登壇）

財政課長（平野哲也） 議案第11号、平成20年度旭市一般会計補正予算（第3号）について、補足説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ10億4,500万円を追加し、予算の総額を274億5,100万円とするものでございます。

第2条の繰越明許費と第3条の地方債の補正につきましては、後ほど別のところでご説明を申し上げます。

6ページをお願いいたします。

第2表の繰越明許費は、掲載しております17事業が年度内に完了しない見込みのものです。この中には国の第二次補正予算関係の8事業も含まれております。

それでは、国の第二次補正関係の8事業を申し上げます。2款総務費の防犯対策事務費358万2,000円と定額給付金給付事業11億487万9,000円、3款民生費の子育て応援特別手当給付事業4,412万1,000円、7款商工費の商業活性化推進事業3,000万円、8款土木費の南堀之内バイパス整備事業2,450万円、旭駅前広場等整備事業1億351万9,000円、（仮称）下宿ふれあい公園整備事業1億7,289万7,000円、安全安心な暮らしづくり事業1億7,000万円であります。事業内容等につきましては、後ほどご説明を申し上げます。

7ページをお願いいたします。

第3表の地方債補正は、掲載しました7事業について、事業費の確定や国からの交付金等の追加により、起債の限度額を減額するものでございます。

次に、歳入について順を追って説明いたしますが、事業内容につきましては、主に歳出の

ほうでご説明いたしますので、よろしくお願ひしいと思います。

少し飛びまして、11ページをお願ひいたします。

9款1項1目地方交付税2億9,262万円の追加は、決定されました普通交付税の一部を補正財源として計上しております。

13款2項1目総務費国庫補助金16億4,972万4,000円の追加は、説明欄1番の市町村合併推進体制整備費補助金8,200万円の追加で、防災行政無線統合整備事業と長熊スポーツ公園整備事業に財源充当するものであります。

説明欄2番の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金3,000万円は、国の安心実現のための第一次補正予算による交付金でありまして、既に予算化されております事業を実施しているもので、とみうら保育所の耐震改修、中央小学校改築と矢指小学校改築の実施設計、携帯・IP電話位置情報システム整備事業の4事業に財源充当するものでございます。

説明欄3番の地域活性化・生活対策臨時交付金4億3,284万5,000円は、国の生活防衛のための第二次補正予算による交付金でありまして、防犯対策事務費、商業活性化推進事業、南堀之内バイパス整備事業、旭駅前広場等整備事業、(仮称)下宿ふれあい公園整備事業、安全安心な暮らしづくり事業の六つの事業に財源充当するものでございます。

説明欄4番の定額給付金給付事業補助金11億487万9,000円は、国の第二次補正予算による補助金で、定額給付金給付事業に財源充当するものでございます。

2項2目民生費国庫補助金は4,307万1,000円の追加で、説明欄2番の子育て応援特別手当給付事業補助金4,412万1,000円は国の第二次補正による補助金で、幼児教育期の子育てを支援するため子育て応援特別手当を支給するものでございます。

2項4目土木費国庫補助金2億7,069万円の追加は、3節住宅費国庫補助金の説明欄1番の住宅・建築物耐震改修等事業費補助金と、4節まちづくり交付金の説明欄1番の旭駅周辺地区と、説明欄2番の干潟駅周辺地区事業に対する補助金の追加によるものでございます。

12ページをお願ひいたします。

2項7目農林水産業費国庫補助金283万5,000円は、国の第二次補正による補助金で、米粉製粉機を購入するものでございます。

14款1項1目民生費県負担金638万1,000円の追加は、説明欄1番の後期高齢者医療保険基盤安定負担金の追加によるものでございます。

2項2目民生費県補助金466万3,000円の追加は、特別保育事業の補助基準の変更によるものでございます。

2項4目農林水産業費県補助金は2,091万4,000円の追加で、説明欄1番の水田農業構造改革推進事業費補助金193万3,000円と、説明欄2番の強い農業づくり交付金1,898万1,000円が追加になったことによるものでございます。

13ページをお願いいたします。

16款1項6目教育費寄附金20万円の追加は、説明欄1番の小学校費寄附金の追加であります。

17款1項4目国民健康保険事業特別会計繰入金は、国民健康保険事業特別会計から事務費精算分を繰り入れるものでございます。

17款2項1目財政調整基金繰入金3億円の減額は、財政調整基金へ3億円を戻し入れるもので、20年度の財政調整基金の繰入金を、当初の6億8,000万円から3億8,000万円に減額するものでございます。

2項2目減債基金繰入金5,000万円の追加は、公債費の繰上償還財源として減債基金から繰り入れるものでございます。

14ページをお願いいたします。

19款5項2目過年度収入3,319万4,000円の追加は、説明欄1番の生活保護費国庫精算分であります。

20款市債につきましては、説明欄に七つの起債を掲載してありますが、すべて減額となっております。これは、事業費の確定や国からの交付金の追加があったことによりまして起債額を減額するものでありまして、合計で10億9,080万円の減額となります。

以上で、歳入の説明を終わります。

続きまして、歳出でございます。主な補正内容を申し上げます。

それでは、15ページをお願いします。

2款1項1目一般管理費3億円の追加は、説明欄1番の庁舎整備基金積立金を計上したものでございます。

1項11目諸費11億846万1,000円の追加は、国の第二次補正予算に関する事業で、説明欄1番の防犯対策事務費358万2,000円は、防犯パトロールの強化と地域の安全の向上を図るための車両を購入するものでございます。

また、説明欄2番の定額給付金給付事業11億487万9,000円は、景気後退下での市民の不安に対処するため市民の生活支援を行うことを目的とし、併せて市民に広く給付することにより地域の経済対策に資するもので、給付金の部分に10億7,390万円、事務費として3,097万

9,000円を予定するものであります。これは、年齢65歳以上の方と18歳以下の方に2万円、19歳以上64歳未満の方に1万2,000円を給付するものでございます。

16ページをお願いいたします。

3款1項4目国民健康保険費3,466万5,000円の減は、説明欄の1番、国民健康保険事業特別会計繰出金の国保出産育児一時金と特定健康診査等が減ったことによるものでございます。

2項2目後期高齢者医療費850万9,000円の追加は、説明欄1番、後期高齢者医療特別会計繰出金の医療保険基盤安定繰出金が追加になったことによるものでございます。

17ページをお願いいたします。

3款3項1目児童福祉総務費4,412万1,000円の追加は、国の第二次補正予算に関する事業で、説明欄の1番、子育て応援特別手当給付事業は、幼児教育期の子育てを支援するため子育て応援特別手当を支給するもので、18歳以下の子どもが二人以上いる家庭で、小学校就学前3年間の第2子以降の子が支給対象となり、1人当たり3万6,000円を給付するものでございます。給付総額は4,219万2,000円、事務費等で192万9,000円を予定いたしております。

3項4目保育所費271万円の減は、主な理由ですけれども、18ページになります。一番上の説明欄2番の保育所施設改修事業で、とみうら保育所園舎改修工事の事業費の確定による減であります。

4項2目扶助費2,515万5,000円の追加は、説明欄1番の生活保護扶助費が増になったことによるものでございます。

19ページをお願いいたします。

6款1項3目農業振興費2,658万4,000円の追加は、説明欄1番の水田農業構造改革推進事業で、新規に稲ホールクroppサイレージ等緊急拡大事業補助金が追加になったことによるものです。

説明欄2番の経営構造対策事業で複合経営促進施設事業費等が増になったこと、説明欄3番の農産加工施設維持管理費で、これは国の第二次補正予算に関する地域雇用拡大型農業経営確立緊急対策事業により米粉を利用した加工品への取り組みを推進し、米の新たな利用方法を掘り起こすため米粉製粉機を購入することによるものでございます。

なお、関連でございますけれども、この緊急対策事業の対象事業として機械利用組合や個人がトラクター、コンバイン等を購入するための補助や融資に対し、市の予算を経由せず国から直接、対象者へ補助されるものが約7,700万円ほど予定されております。

20ページをお願いいたします。

7款1項2目商工振興費3,000万円の追加は、説明欄1の商業活性化推進事業で、国の第二次補正予算に関する事業で、景気低迷に伴う緊急・経済対策及び生活支援としてプレミアム付き商品券2億2,000万円の発行に係るプレミアム分2,000万円と事務費等1,000万円、合わせて3,000万円の補助を旭市商業振興連合会へ行うものでございます。

1項3目観光費1,000万円の減は、説明欄1番の長熊スポーツ公園整備事業の事業費確定により減額するものでございます。

8款2項3目道路新設改良費は、目の全体では1,700万円の減となっておりますが、事業によって増と減がございます。

説明欄1番の排水路整備事業（十日市場地区）につきましては3,300万円の減、説明欄2番の排水路整備事業（西野地区）につきましても850万円の減でありまして、ともに事業費の確定により減額するものでございます。また、21ページをお願いいたします。説明欄3番の南堀之内バイパス整備事業2,450万円は、国の第二次補正予算に関する事業で、市道南堀之内遊正線の北側への延伸にかかる調査測量費を新規に計上するものでございます。

8款3項2目街路費8,349万8,000円の追加は、説明欄2番の旭駅前広場等整備事業1億351万9,000円は国の第二次補正予算に関する事業で、平成21年度に完成予定の旭駅前線整備事業（県事業）と併せ、旭駅東側の整備を進めるための用地購入費と工事費等を計上するものでございます。

22ページをお願いいたします。

3項4目公園費1億870万9,000円の追加は、説明欄2番の（仮称）下宿ふれあい公園整備事業1億1,000万円は国の第二次補正予算に関する事業で、21年度に予定していましたが事業費の全部を本予算に組み入れまして、次年度へ繰り越しして実施するものでございます。

4項1目住宅管理費は1億7,000万円の追加で、説明欄1番の安全安心な暮らしづくり事業は国の第二次補正予算に関する事業で、地域生活基盤の確保を図り、雇用失業情勢に対する雇用創出等の支援充実と、住民が住みなれた地域で安心して暮らせる社会の基盤を整備するもので、池の端、香取等の市営住宅の屋根や外壁等の改修工事で1億3,000万円と、現在、独立行政法人雇用・能力開発機構が所有いたしております雇用促進住宅2棟80戸と土地4,825平米の買い取り費用として4,000万円を計上するものでございます。

23ページをお願いいたします。

9款1項3目災害対策費7億665万6,000円の減は、説明欄1番の防災行政無線統合整備事業の事業費の確定により減額するものでございます。

10款 2 項 2 目教育振興費20万円の追加は、滝郷小学校視聴覚教材備品購入代としてキウチタカオ様からの寄附を充当するものでございます。

24ページをお願いいたします。

10款 3 項 1 目学校管理費4,217万7,000円の減は、説明欄 1 番の第二中学校改築事業の事業費の確定により減額するものでございます。

12款 1 項 1 目元金5,466万3,000円の追加は、繰上償還によるものでございます。

1 項 2 目利子3,880万5,000円の減は、本年度予定いたしていましたが借入金の減額等によるものでございます。

それでは、最後の26ページをお願いいたします。

この表は、地方債の現在高の見込みに関する調書でございます。今回の補正額として10億9,080万円の起債を減額することによりまして、20年度末現在高見込額は、右下になりますけれども、266億692万7,000円となるものでございます。

以上で、議案第11号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第12号、議案第13号について、保険年金課長、登壇してください。

（保険年金課長 増田富雄 登壇）

保険年金課長（増田富雄） 議案第12号、平成20年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算について、補足説明を申し上げます。

お手元の補正予算書の 1 ページをお開きください。

第 1 条は、事業勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,170万円を追加し、歳入歳出予算の総額を85億1,370万円とするものです。

2 ページと 3 ページは、項目別にした歳入歳出予算の補正であり、5 ページと 6 ページは、それを事項別にした明細書の総括となっております。詳しい内容につきましては、7 ページ以降でご説明申し上げます。

7 ページをご覧ください。

事業勘定のうち歳入についてご説明申し上げます。

4 款 2 項 1 目財政調整交付金につきましては、旭中央病院の医療相談事業及び施設整備事業への国庫補助金の確定により637万5,000円を減額するものであります。

7 款 2 項 1 目県財政調整交付金は国保診療施設への県からの補助金でありまして、国保会計を經由して旭中央病院へ200万円、中央病院附属の飯岡診療所へ30万円、滝郷診療所へ30

万円交付されることが決定したことにより260万円を計上するものであります。

9款1項1目利子及び配当金は、基金運用利子104万5,000円を計上するものであります。

10款1項1目一般会計繰入金は、出産育児一時金の件数や特定健診費用が当初の予定よりも下回る見込みとなったことから3,466万5,000円を減額するものであります。

続いて、8ページをご覧ください。

11款1項2目繰越金は、前年度繰越金が確定したことによりまして5,905万円を増額するものであります。

12款3項1目特定健康診査等受託収入は、後期高齢者にかかわる健康診査及び生活機能評価の検査費用が確定したため995万5,000円を減額するものであります。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。

9ページをご覧ください。

2款4項1目の出産育児一時金は、出産件数が当初の予定よりも下回る見込みとなったことから2,228万円を減額するものであります。

5項1目の葬祭費は、死亡件数が当初の予定よりも下回る見込みとなったことから700万円を減額するものであります。

8款1項1目の保健事業費は、特定健診事業費の確定により2,838万円を減額するものであります。

10ページをご覧ください。

9款1項1目の財政調整基金積立金は、基金運用利子をそのまま基金へ積み立てるもので、104万5,000円を計上いたしました。

11款1項3目の償還金は、過年度分精算による国庫負担金で、国へ返還すべく1,638万4,000円を計上するものであります。

3項1目の直営診療施設勘定等繰出金につきましては、右側の説明欄をご覧ください。説明欄1番の直営診療施設勘定繰出金は、国保会計を經由して県から滝郷診療所へおりてくる補助金でありまして、30万円を計上いたしました。

説明欄2番の病院事業会計繰出金は、国保会計を經由して国及び県から直営診療施設へおりてくる補助金であります。当初の見込みよりも確定額が下回ったため、407万5,000円を減額するものであります。

説明欄3番の一般会計繰出金は、一般会計繰入金の過年度分の精算と、一般会計で支出した電算システム改修費にかかわる調整交付金として国保会計へ入ってきた分をそのまま一般

会計へ返還すべく5,570万6,000円を計上するものであります。

以上で、議案第12号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第13号、平成20年度旭市後期高齢者医療特別会計補正予算について、補足説明を申し上げます。

お手元の補正予算書の1ページをお開きください。

第1条は、歳入歳出予算の総額からそれぞれ6,800万円を減額し、歳入歳出予算の総額を6億9,700万円とするものです。

2ページと3ページは、項目別にした歳入歳出予算の補正であり、5ページと6ページは、それを事項別にした明細書の総括となっております。詳しい内容につきましては、7ページ以降でご説明申し上げます。

7ページをご覧ください。

歳入についてご説明申し上げます。

1款1項1目後期高齢者医療保険料につきましては、年度途中で政府与党による軽減の見直し等が行われたことから当初の予定よりも下回る見込みとなりましたので、7,650万9,000円を減額するものであります。

2款1項1目一般会計繰入金につきましては、保険料の軽減分への繰り出しが本算定により当初の予定よりも上回る見込みとなりましたので、850万9,000円を増額するものであります。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。

8ページをご覧ください。

2款1項1目の広域連合納付金につきましては、歳入のところでもお話しいたしましたが、保険料が当初の予定よりも下回ることと一般会計からの繰り出しが増えることによりまして、その合計額であります6,800万円を減額するものであります。

以上で、議案第13号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 保険年金課長の補足説明は終わりました。

議案第14号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 横山秀喜 登壇）

高齢者福祉課長（横山秀喜） 議案第14号、平成20年度旭市介護保険事業特別会計補正予算について、補足説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお開きください。

今回の補正額は、第1条にありますように、歳入歳出予算にそれぞれ3,043万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を34億7,420万4,000円とするものです。

ちょっと飛びまして、7ページをお開きください。

2款2項3目介護従事者処遇改善臨時特例交付金は、国からの交付金2,964万7,000円を計上するものです。これは、国の追加経済対策によりまして、平成21年度に介護報酬を3%引き上げると同時に、これに伴う保険料負担の軽減を図るための交付金であります。この交付金は、次の8ページをお開きください。4款1項基金積立金、2目介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金において、同額を積み立てるものであります。

なお、この基金の設置につきましては、議案第20号で上程させていただいております。順番が逆になりましたが、1目の介護保険給付費準備基金積立金78万4,000円は、今年度の利子を積み立てるものです。これによりまして、平成20年度末の基金保有見込額は3億2,180万円となります。

以上で、議案第14号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案の補足説明は途中ですが、ここで3時15分まで休憩いたします。

休憩 午後 3時 1分

再開 午後 3時14分

議長（向後和夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案の補足説明を求めます。

議案第15号について、下水道課長、登壇してください。

（下水道課長 中野博之 登壇）

下水道課長（中野博之） 議案第15号、平成20年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決について、補足説明申し上げます。

お手元の補正予算書の1ページをお開きください。

第1条にございますように、繰越明許費の設定であります。

2ページ目をお開きください。

第1表の繰越明許費であります。地方自治法第213条第1項の規定によりまして、翌年

度に繰り越して使用できる経費として、その金額を3,500万円とするものでございます。これは、浄化センターの建設事業が年度内に完成が見込めないことから繰り越し工事となるものであります。

以上で、議案第15号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 下水道課長の補足説明は終わりました。

議案第16号について、水道課長、登壇してください。

（水道課長 堀川茂博 登壇）

水道課長（堀川茂博） 議案第16号、平成20年度旭市水道事業会計補正予算（第1号）について、補足説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお開きください。

第1条は、当会計の補正第1号を行う旨の規定でございます。

第2条は収益的収入及び支出の補正、第3条は資本的収入及び支出の補正であります。内容につきましては、3ページの実施計画で説明させていただきます。

次に、2ページをお開きください。

第4条は、起債の目的、限度額等を改めるものでございます。内容は、繰上償還に伴う借債の追加と、配水管整備事業費の減少に伴い限度額を補正するものであります。

次は、3ページをお開きください。

平成20年度旭市水道事業会計補正予算実施計画であります。

収益的収入の部であります。第1款水道事業収益は、既決予定額の17億5,569万7,000円を820万5,000円増額し、補正後の予定額を17億6,390万2,000円とするものであります。

この内訳といたしましては、第2項営業外収益を増額するものでございます。内容としましては、2目補助金ですが、県からの助成であります市町村水道総合対策事業補助金が確定し当初見込みを上回ったことと、配水場管理棟の耐震診断に係る補助金を見込み、820万5,000円を増額するものであります。

次に、支出の部であります。第1款水道事業費用は、既決予定額16億4,042万4,000円を1,504万9,000円増額し、補正後の予定額を16億5,547万3,000円とするものであります。

この内訳といたしましては、第1項営業費用の5目減価償却費を1,047万3,000円、第2項営業外費用の2目消費税及び地方消費税を457万6,000円それぞれ増額するものでございます。内容としましては、減価償却費について、合併時に償却対象資産及び償却方法等で一部統一されない部分がありましたので、今回調整を行い、統一するものであります。消費税及び地

方消費税につきましては、建設改良費の減額に伴い、支払い額が増額するものであります。

続いて、資本的収入及び支出についてご説明申し上げます。

収入の部ですが、第1款資本的収入は、既決予定額2億6,957万3,000円を6億6,940万円増額し、補正後の予定額を9億3,897万3,000円とするものであります。

この内訳といたしましては、第1項1目企業債を7億110万円増額し、第2項1目出資金3,170万円減額をするものであります。内容としましては、企業債について、6%以上で借り入れ分の一部繰上償還を予定したことによる財源として、借款債を7億7,450万円追加し、配水管整備事業に係る企業債を、工事費等の削減が図れましたので、7,340万円減額するものであります。出資金につきましては、合併特例債活用事業として実施した配水管整備事業が、同じく工事費等の削減が図れましたので、一般会計からの出資金を減額するものであります。

支出の部ですが、第1款資本的支出は、既決予定額7億5,357万2,000円を6億7,855万9,000円増額し、補正後の予定額を14億3,213万1,000円とするものであります。

この内訳といたしましては、第1項建設改良費の1目拡張工事費を9,600万円減額し、第2項1目企業債償還金を7億7,455万9,000円増額するものであります。内容としまして、拡張工事費につきましては、配水管布設工事費が当初見込みを大きく下回ったことにより減額するものであります。企業債償還金につきましては、先ほど説明したとおりの内容でございます。繰上償還分を追加するものであります。

次に、4ページをお開きください。

平成20年度旭市水道事業会計補正予算資金計画となっております。

平成19年度決算とこの補正によります受け入れ、支払資金の補正をいたしまして、年度末の現金残高を5億7,378万9,000円と予定するものでございます。

なお、企業債の借り換えによって軽減される利息は約1億3,600万円ほど見込んでおります。

以上で、議案第16号についての補足説明を終了させていただきます。よろしく願いいたします。

議長（向後和夫） 水道課長の補足説明は終わりました。

議案第17号について、病院経理課長、登壇してください。

（病院経理課長 鈴木清武 登壇）

病院経理課長（鈴木清武） 議案第17号、平成20年度旭市病院事業会計補正予算（第2号）

について、補足説明を申し上げます。

補正予算書の1ページをお開きください。

第1条は総則であります。

第2条は資本的収入及び支出の予定額の補正であります。

第1款資本的収入の既決予定額5億5,892万5,000円を2億4,986万9,000円減額し3億905万6,000円に、また、第1款資本的支出の既決予定額41億4,986万7,000円を4億5,588万5,000円減額し36億9,398万2,000円に補正するものであります。

次に、2ページをお開きください。

第3条は、継続費の総額及び年割額の補正で、総額を194億8,475万円に、年割額を20年度1億6,380万円、21年度61億7,801万5,000円、22年度131億4,293万5,000円に改めるものであります。これは、再整備事業新本館建設工事のうち、建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事の契約額が決定したことにより減額補正するものであります。

続きまして、4ページをお開きください。

第4条は起債の限度額の補正で、再整備事業実施設計として1億3,700万円、再整備事業新本館建設工事として1億3,900万円とするものであります。

それでは、12ページをお開きください。継続費に関する調書であります。

以上で、議案第17号についての補足説明を終わります。よろしく申し上げます。

議長（向後和夫） 病院経理課長の補足説明は終わりました。

議案第18号について、国民宿舎支配人、登壇してください。

（国民宿舎支配人 野口國男 登壇）

国民宿舎支配人（野口國男） 議案第18号、平成20年度旭市国民宿舎事業会計補正予算（第2号）について、補足説明を申し上げます。

予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、補正予算を定める総則でございます。

第2条は、予算第2条中に定めました業務の予定量のうち、「休憩3,000人」を2,400人増員し、「休憩5,400人」に改めるものであります。

第3条は、予算第3条に定めました収益的収入及び支出の予定額の補正をそれぞれ記載のとおり定めました。

内容につきましては、3ページをお開きいただきたいと思っております。

平成20年度旭市国民宿舎事業会計補正予算（第2号）実施計画でございます。

収入につきましては、第1款国民宿舎事業収益1億7,423万2,000円に1,609万2,000円を増額いたしまして、1億9,032万4,000円とするものでございます。

内訳につきましては、第1項営業収益のうち第1目利用収益1,609万2,000円の増額は、予定する休憩者の増員に伴い、食事料及び酒類等飲料収入を上方修正するとともに、供用開始後の実績から宿泊料の見直しによる増額を見込むものでございます。

続いて、支出につきましては4ページをお願いいたします。

国民宿舎事業費用2億841万9,000円に1,195万円を増額補正いたしまして、2億2,036万9,000円とするものでございます。

内訳につきましては、第1項営業費用のうち第1目宿舎経営費1,223万3,000円の増額は、食事材料及び臨時職員の賃金等の増額でございます。第2項営業外費用のうち第4目消費税の43万7,000円の増額は、課税支払い額の増加に伴うものでございます。

収益から費用を差し引きました税込みの損失額は2,895万円、税抜きでの純損失額を3,763万3,000円と見込んでおります。

続いて、2ページをお開きいただきたいと思います。

第4条は、議会の議決を経なければ流用することができない経費として、予算第8条に定めました職員給与費9,086万6,000円に、雇用しております臨時職員の賃金532万4,000円を追加し、9,619万円に改めるものでございます。

次に、第5条は、予算第10条に定めましたたな卸資産の購入限度額5,363万8,000円に、食事材料費及び酒類等飲料材料費332万円を追加し、5,695万8,000円に改めるものでございます。

次に、5ページをお願いいたします。

この表は、平成20年度旭市国民宿舎事業会計補正予算(第2号)資金計画でございます。補正後におけます当年度末の現金を3,601万円と予定するものでございます。

次に、6ページから8ページまでは、平成20年度末予定貸借対照表でございます。

8ページの下の方になりますけれども、当年度末の純損失3,763万3,000円と繰越欠損金1,323万円を合わせました5,086万2,000円が当年度末処理欠損金となる見込みでございます。

以上で、議案第18号について補足説明を終了させていただきます。よろしくお願いたします。

議長(向後和夫) 国民宿舎支配人の補足説明は終わりました。

議案第19号、議案第22号、議案第27号について、総務課長、登壇してください。

(総務課長 高埜英俊 登壇)

総務課長(高埜英俊) 補足説明の前にご案内いたします。

本議会から、条例等の改正については新旧対照表をお配りしてございますので、適宜ご覧いただきたいと思っております。

それでは、議案第19号、議案第22号及び議案第27号について、補足説明をいたします。

議案第19号は、旭市庁舎整備基金条例の制定についてであります。基金設置の趣旨については、提案理由にありましたので、条文について説明いたします。

第1条は、設置規定です。

第2条は、基金の積み立て額を予算で定める額とするものです。

第3条は、基金の管理に関する規定です。

第4条は、基金の運用益の処理に関する規定です。

第5条は、基金の繰替運用に関する規定です。

第6条は、基金の処分に関する規定です。この基金は、新たに市庁舎を建設する場合、及びそれに代わって現存庁舎を改修する場合に限って、処分することができる旨を定めるものです。

第7条は、委任規定です。

附則は、本条例の施行期日を公布の日とするものです。

次に、議案第22号は、旭市議会議員及び旭市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。

公職選挙法が改正されまして、地方公共団体の長の選挙において選挙運動用ビラの頒布ができることになり、その作成費用の一定額を、条例で定めるところにより、公費負担ができることになりました。本市もこれに対応するため、条例を改正するものであります。

改正の内容でございますが、国が示しました準則によっております。

新旧対照表の1ページをご覧ください。議案の一番後に添付してあると思っております。

改正後の条例の第6条は、選挙運動用ビラの作成費用の公費負担となる条件について、第7条は、ビラ作成に係る契約締結の選挙管理委員会への届け出義務について、第8条は、公費負担の限度額と支払いについて、それぞれ定めるものです。

第9条から第11条までは、選挙運動用ポスターについての規定を移動、整理するため、準則に準じて改めるものです。

附則は、本条例の施行期日を本年4月1日とするものです。

なお、市議会議員の選挙においては、選挙運動用ビラの頒布の規定が公職選挙法に設けられませんでした。

次に、議案第27号は、千葉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉縣市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてであります。新旧対象表の12ページになります。

この協議は、千葉縣市町村総合事務組合の組織団体である浦安市・市川市病院組合及び香取市東庄町清掃組合が平成21年3月31日に解散するため、あらかじめ関係地方公共団体の議会の議決を求めるものです。

条文について説明いたします。

別表第1の改正は、規約第2条の組合を組織する団体についての改正です。

別表第2の改正は、規約第3条の共同処理する団体についての改正で、第1号は、常勤の職員に対する退職手当の支給、第3号は、議会の議員等の公務災害補償、第11号は公平委員会についての事務です。

附則は、本規約の施行期日を本年4月1日とするものです。

以上でございます。

議長（向後和夫） 総務課長の補足説明は終わりました。

議案第20号、議案第25号について、高齢者福祉課長、登壇してください。

（高齢者福祉課長 横山秀喜 登壇）

高齢者福祉課長（横山秀喜） 議案第20号と議案第25号の補足説明をいたします。

最初に、議案第20号をお開きください。

旭市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について、補足説明を申し上げます。

初めに、この基金の設置目的ですが、第1条にありますように、介護従事者の処遇改善を図るため、平成21年度から介護報酬を3%アップさせることにより、これに伴う介護保険料の上昇を抑制するため基金を設置するものです。

第2条において、積み立てる額は、市が交付を受ける介護従事者処遇改善臨時特例交付金の額で、その金額は、議案第14号の補正予算に計上した2,964万7,000円であります。

第6条において、基金の処分について規定しております。

第1号では、平成21年度からの介護報酬の改定に伴う介護保険料の増加額を軽減するための財源に充てる場合です。具体的には、平成21年度は3%改定分の全額1,751万4,000円、平成22年度は改定分の半額となる887万円です。

第2号では、広報啓発等の財源に充てる場合です。

次のページをお願いします。附則第2項におきまして、平成24年3月31日限りで効力が失われることを規定しております。

以上で、議案第20号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第25号をお願いします。

旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明申し上げます。

介護保険事業につきましては、3年ごとの事業計画を見直し、介護保険給付費を推計し、必要となります介護保険料を定める仕組みとなっております。

このたび、平成21年度から平成23年度までの第4期介護保険事業計画に基づきまして、第1号被保険者の介護保険料を変更するものです。

今回の変更の特徴といたしましては、4点ございます。まず第1点目ですけれども、財源の負担割合が変更となります。第1号被保険者の負担割合は、第3期の19%から1%上がりまして20%になります。したがって、第2号被保険者の負担割合は、31%から30%になります。公費の国・県・市の負担割合は変わりません。

第2点目は、保険料段階を現行の6段階から9段階へと変更し、細分化いたします。

第3点目は、介護報酬を3%引き上げるための介護給付費の上昇を見込み、さらに、その対応策であります国の特例交付金を見込みます。

第4点目は、介護保険給付費準備基金を2億6,600万円取り崩すことによりまして、保険料の急激な上昇を抑制することです。

それでは、条文についてご説明いたします。

第3条におきまして、対象年度を平成21年度から23年度に改めまして、第1号から第8号で各所得段階の保険料を定めております。

第4号の年額3万9,600円、月額にいたしますと3,300円が新段階の第5段階になりますが、ここが基準となります。これは、第4期計画期間内の標準給付費と地域支援事業費の合計を112億7,231万1,000円と見込み、第1号被保険者の負担率20%を乗じて、さらに介護保険給付費準備基金を2億6,600万円取り崩すことにより設定いたします。基金を取り崩すことにより、本来必要とされる保険料より月額480円下げて設定します。その他の各段階の保険料は、基準額に各保険料率を乗じて算出したものです。

次のページ、附則第2条で、新段階の第4段階の保険料を定めております。

さらに、附則第3条第1項におきまして平成21年度の保険料を、第2項におきまして平成

22年度の保険料を定めております。平成21年度と22年度につきましては、国の介護従事者処遇改善臨時特例交付金を充当することにより、保険料の軽減を図っております。軽減額は、第5段階の基準で申し上げますと、平成21年度が月額96円、平成22年度が月額48円の軽減となります。

なお、介護保険料の変更点につきましては、全員協議会時にお配りいたしました第1号被保険者介護保険料の表を参考にさせていただきますようお願いいたします。

以上で、議案第25号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 高齢者福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第21号について、生涯学習課長、登壇してください。

（生涯学習課長 花香寛源 登壇）

生涯学習課長（花香寛源） 議案第21号、旭市海上キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本案は、千葉県より無償譲渡が予定されております旭市海上キャンプ場について、必要な事項を条例に定めるものであります。

それでは、条文の内容についてご説明をいたします。

第1条は、地方自治法の規定により、公の施設を設置する趣旨の規定であります。

第2条から第3条までは、設置及び施設の名称、位置を定める規定であります。

第4条から第10条までは使用に関する規定であり、管理を行うもの及び使用の許可や使用料について定めたものです。

第11条から第14条までは管理運営に関する規定であり、指定管理者に管理を行わせる場合について、その範囲や基準を定めたものです。

第15条は、必要な事項を別に定める旨の委任規定であります。

附則第1項は、本条例の施行日を規定するものであります。

附則第2項は、第9条の規定に関して、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正するための規定であり、別表第1その1に旭市海上キャンプ場及び体育館の使用料を加えるものであります。

ただし、第9条及び附則第2項の規定は、同年7月1日以後のキャンプ場に適用するものであります。

以上で、議案第21号について補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 生涯学習課長の補足説明は終わりました。

議案第23号について、税務課長、登壇してください。

(税務課長 野口徳和 登壇)

税務課長(野口徳和) 議案第23号、旭市税条例の一部を改正する条例について、補足説明を申し上げます。

今回の改正は、個人市民税及び固定資産税の納期前納付の報奨金制度を廃止することに伴い、所要の改正を行うものであります。

本制度は、税収の早期確保や納税意識の向上を目的に創設されたものですが、その後の社会経済情勢の進展や納税意識の浸透により当初の目的を達成できたものとして、県内においても廃止が進んでいる状況であります。

また、個人市民税では、給与所得者など給与から市民税を天引きされる方、さらに本年10月から開始される個人市民税の公的年金からの特別徴収の方には適用がなく、不公平感が生じていることなどから廃止をするものであります。

それでは、お手元の条文の説明をいたします。

第42条の改正は、個人市民税の前納報奨金の交付を規定した第2項を削除するものであります。

第70条の改正は、固定資産税の前納報奨金の交付を規定した第2項を削除するものであります。

附則は施行期日に関する規定で、この条例の施行は平成21年4月1日から施行するものですが、第70条の固定資産税の前納報奨金の廃止については平成22年4月1日から施行するもので、段階的に行うものであります。

経過措置は、改正後の条例の適用区分を定めたものであります。

以上で補足説明を終わります。

議長(向後和夫) 税務課長の補足説明は終わりました。

議案第24号について、農水産課長、登壇してください。

(農水産課長 堀江隆夫 登壇)

農水産課長(堀江隆夫) それでは、議案第24号、旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本議案は、国の補助事業を活用しまして、市内萬歳地区にあります旭市農産物処理加工センターに米粉製粉機を導入することとしたため、この使用料について定めるものであります。

市民の使用料を米1キログラム当たり50円、市外の人の使用料を同じく100円と定めるも

のであります。

なお、米粉製粉機は、米の生産調整にカウントされることとなった新規需要米のうち米粉の利用を積極的に推進するため導入するものであります。

以上で、議案第24号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 農水産課長の補足説明は終わりました。

議案第26号について、国民宿舎支配人、登壇してください。

（国民宿舎支配人 野口國男 登壇）

国民宿舎支配人（野口國男） 議案第26号、旭市国民宿舎事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

本改正案は、施設改修工事によりまして、客室等の事業規模を変更いたしました。このため、旭市国民宿舎事業の設置及び管理に関する条例第3条第2項に定めてございます国民宿舎の宿泊利用定数及び……

議長（向後和夫） 議場での雑談はやめてください。

国民宿舎支配人（野口國男） 室数を改めるものでございます。

改正の内容は、現行での国民宿舎の普通客室は39室、集会用広間は3室、宿泊収容人員は160人とする。これを、国民宿舎の宿泊利用定数及び室数は別表に定めるとおりとするといまして、別表に宿泊利用定数を88人、室数として客室30室、広間1室、会議室1室とするものでございます。

施行日については、交付の日から施行するものでございます。

以上で、議案第26号についての補足説明を終了させていただきます。よろしく申し上げます。

議長（向後和夫） 国民宿舎支配人の補足説明は終わりました。

ここでしばらく休憩いたします。そのまま自席でお待ちください。

休憩 午後 3時49分

再開 午後 3時50分

副議長（林 一雄） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長の都合により、議長に代わり議事の進行を務めますので、ご協力のほどよろしくお願い

いをいたします。

地方自治法第117条の規定により、議案第28号に関係いたします林一哉議員、向後和夫議員、嶋田茂樹議員、高木武雄議員、明智忠直議員、佐久間茂樹議員の退席を求めます。

(26番 林 一哉 退席)

(20番 向後和夫 退席)

(19番 嶋田茂樹 退席)

(18番 高木武雄 退席)

(16番 明智忠直 退席)

(12番 佐久間茂樹 退席)

副議長(林 一雄) しばらく休憩いたします。そのまま自席でお待ちください。

休憩 午後 3時50分

再開 午後 3時51分

副議長(林 一雄) 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案の補足説明を求めます。

議案第28号について、社会福祉課長、登壇してください。

(社会福祉課長 在田 豊 登壇)

社会福祉課長(在田 豊) 議案第28号、指定管理者の指定について、補足説明を申し上げます。

議案第28号、あさひ健康福祉センターの指定管理者の指定については、旭市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例第5条の規定を適用し、公募は行わずに、現在、同施設の指定管理者の財団法人旭市福祉協会を指定管理者候補として、市民の代表及び学識経験者を含めた旭市指定管理者候補者選定委員会で審議を行い、審議の結果、財団法人旭市福祉協会が適当な指定管理者候補者として選定されたことにより、同協会をあさひ健康福祉センターの指定管理者として指定するものです。

以上です。

副議長(林 一雄) 社会福祉課長の補足説明は終わりました。

ここで、林一哉議員、向後和夫議員、嶋田茂樹議員、高木武雄議員、明智忠直議員、佐久

間茂樹議員の入場を求めます。

(26番 林 一哉 入場)

(20番 向後和夫 入場)

(19番 嶋田茂樹 入場)

(18番 高木武雄 入場)

(16番 明智忠直 入場)

(12番 佐久間茂樹 入場)

副議長(林 一雄) しばらく休憩いたします。そのまま自席でお待ちください。

休憩 午後 3時53分

再開 午後 3時54分

議長(向後和夫) 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き議案の補足説明を求めます。

議案第29号、議案第30号、議案第31号について、社会福祉課長、登壇してください。

(社会福祉課長 在田 豊 登壇)

社会福祉課長(在田 豊) 議案第29号から議案第31号までの指定管理者の指定について、補足説明を申し上げます。

議案第29号、海上ふれあいサポートセンターの指定管理者の指定については、旭市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例第5条の規定を適用し、公募は行わずに、現在、同施設の指定管理者の社会福祉法人旭市社会福祉協議会を指定管理者候補として、市民の代表及び学識経験者を含めた旭市指定管理者候補者選定委員会で審議を行い、審議の結果、社会福祉法人旭市社会福祉協議会が適当な指定管理者候補者として選定されたことにより、同協議会を海上ふれあいサポートセンターの指定管理者として指定するものです。

続きまして、議案第30号、飯岡福祉センターの指定管理者の指定については、旭市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例第5条の規定を適用し、公募は行わずに、現在、同施設の指定管理者の社会福祉法人旭市社会福祉協議会を指定管理者候補として、市民の代表及び学識経験者を含めた旭市指定管理者候補者選定委員会で審議を行い、審議の結果、社会福祉法人旭市社会福祉協議会が適当な指定管理者候補者として選定されたことによ

り、同協議会を飯岡福祉センターの指定管理者として指定するものです。

議案第31号、旭市福祉作業所の指定管理者の指定については、旭市公の施設に係る指定管理者の指定の手続きに関する条例第5条の規定を適用し、公募は行わずに、現在、同施設の指定管理者の旭市手をつなぐ育成会を指定管理者候補として市民の代表及び学識経験者を含めた旭市指定管理者候補者選定委員会で審議を行い、審議の結果、旭市手をつなぐ育成会が適当な指定管理者候補者として選定されたことにより、同会を旭市福祉作業所の指定管理者として指定するものです。

以上です。

議長（向後和夫） 社会福祉課長の補足説明は終わりました。

議案第32号について、建設課長、登壇してください。

（建設課長 米本壽一 登壇）

建設課長（米本壽一） 議案第32号、市道路線の認定、廃止及び変更について、補足説明申し上げます。

いずれも県営畑地帯総合整備事業に伴うものです。

認定する64路線は、新たに整備された道路と道路区域に変更を生じた既設市道であり、市道認定要件を満たすため認定するものです。

廃止する8路線は、道路の機能の全部または一部を失った等により廃止するものです。

変更する1路線は、代替となる道路が整備されたため変更するものです。

以上で議案第32号の補足説明を終わります。

議長（向後和夫） 建設課長の補足説明は終わりました。

以上で、議案の補足説明は終わりました。

議長（向後和夫） 以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じます。

なお、本会議は4日定刻より開会いたします。

大変ご苦労さまでした。

散会 午後 3時59分